

消 防 年 報

令和5年版



U K I



う き こ う い き れ ん ご う し ょ う ぼ う ほ ん ぶ
宇城広域連合消防本部

は じ め に

この年報は、宇城広域連合消防本部における消防業務の基本的な統計資料を収録し、将来の参考に資するとともに、現況を一般に広く紹介することを目的として編集したものです。

また、予算関係事項については会計年度とし、火災・救急等は歴年、その他はそれぞれの表に年月日を記載してあります。

令和6年4月



宇城広域連合消防本部
宇城広域連合北消防署



宇城広域連合南消防署

宇城広域連合消防本部の概要

宇城広域連合消防本部は、宇城広域連合の消防業務を担い、宇土市・宇城市・下益城郡美里町の2市1町で構成されています。熊本県のほぼ中央に位置し、宇土半島北側に有明海、南側に八代海を配し、国道57号線や国道266号線を西へ進むと平成27年に「明治日本の産業革命遺産」の一つとして世界文化遺産に登録された熊本の三角西港や天草の玄関口、天城橋や天門橋が見えてきます。(位置と地勢 P4参照)



▲宇土市・御輿来海岸



▲宇土市・長部田海床路



▲宇城市（三角町）・石積埠頭



▲美里町・大窪橋

目 次

連 合 勢 の 概 要

管内一目統計	1
令和5年度各種行事	2
位置と地勢	4
面積と人口	4
消防の沿革	5
宇城広域連合機構図	13
定数及び任期	14
歴代組合長及び連合長	14
歴代消防長	14
消防庁舎の現況	15
常備消防予算の概要	17

消 防 現 況

事務分掌	18
消防職員の状況	22
年齢別職員数	23
勤続年数別職員数	24
消防力の整備指針による基準消防力と現有消防力	25
消防力現勢配置図	26
協定書に基づく応援等について	27
階級別特殊技能取得状況	28
消防資器材の現有状況	29
消防通信系統図	32
119受信状況	33
気象状況	34

火 災

概 況	35
10か年の火災発生件数	36
市町別10か年の火災発生件数	36
月別火災発生件数	37
月別・市町別火災発生件数	37
時間・種別毎火災発生件数	37
市町別火災発生件数と損害額	38
年別火災状況及び損害額	39
月別火災発生状況	40
市町別火災発生状況	41
出火原因別の前年比	42
出火原因別火災発生件数	42

救急・救助

救急概況	43
10か年の救急出場件数	43
市町別救急出場件数	44
市町別救急搬送人員	44
署別救急出場件数	45
救急出動応援（PA連携）	45
10か年署別救急出場件数推移	46
時間別救急出場件数	47
月・曜日別種別毎搬送人員	48
事故種別医療機関別搬送人員	49
事故種別年齢区分別傷病程度搬送人員	50
現場到着所要時間別出場件数	51
収容所要時間別搬送人員	51
救急隊員の行った応急処置件数	52
救助概況	54
10か年の救助出場件数	54
事故種別救助出場及び活動状況	54
発生場所別救助出場及び救助人員	54

予 防

予防業務の概要	55
火災予防条例等に基づく諸届出受理件数	55
防火対象物現況	56
用途別建築同意件数	57
市町別建築同意件数	58
月別建築同意件数	58
危険物製造所等の取扱数量別施設数	59
危険物規制事務取扱状況	60
市町別危険物施設数	61

幼 少 年 婦 人 防 火 ク ラ ブ

幼年消防クラブ	62
少年消防クラブ	63
婦人防火クラブ	63

消 防 団

団員数とポンプ台数	64
-----------	----

住 民 に 対 す る 各 種 活 動

救命講習等の実施状況	65
住宅用火災警報器 宇城設置率の推移	66
住宅用火災警報器 全国設置率の推移	66
うき防火標語	67

所在一覧・災害情報テレホンサービス・E-mail・ホームページ	68
---------------------------------	----

連 合 勢 の 概 要

- ◇ 管内一目統計
- ◇ 定数及び任期
- ◇ 令和5年度各種行事
- ◇ 歴代組合長及び連合長
- ◇ 位置と地勢
- ◇ 歴代消防長
- ◇ 面積と人口
- ◇ 消防庁舎の現況
- ◇ 消防の沿革
- ◇ 常備消防予算の概要
- ◇ 宇城広域連合機構図

**宇城広域連合
消防本部**

UKI FIRE DEPARTMENT

[消防本部について](#)
[統計](#)
[申請書・届出](#)
[講習会・試験案内](#)
[係員生活](#)

緊急情報

現在発生している
緊急情報はありませ
ない。

宇城広域のお天気情報

2023年4月13日(木)

今日 25℃ 明日 23℃ 11℃

晴れ 所により 曇り 雨 雨

災害に強い安心・安全なまちづくりを目指して

メニュー

- 活動報告
- 生活安全情報
- 採用情報
- 防火組織
- リンク集
- 運営ポリシー
- 入札公告
- 電子メール申請

新着情報 ~ NEW INFORMATION

- 2023.04.12 令和5年度 宇城消防技術研修会開催のお知らせ
- 2023.04.10 消防職員研修生研修会が完了しました。
- 2023.03.31 一般の申請を「電子メール」で受付開始いたしました。
- 2023.03.09 結核菌検査キットの配布を開始しました。
- 2023.03.01 令和4年度宇城広域連合消防職員表彰会を開催しました。

[>> 新着情報一覧を見る](#)

★スペシャルコンテンツ

- ペーパークラフト
- 宇城の災害の歴史
- Q & A

消防用設備等指導指針

建築物の防火安全管理規程表示制度

違反対象物の公表制度

応急手当WEB講習

宇城広域連合

宇城広域連合公式 Facebook

消防本部の連絡先

代表電話	0964-22-0554
総務課	0964-22-6220
消防課	0964-22-6221
予防課	0964-22-6222
テレホンサービス	0964-23-3211

2023年4月13日(木) 現在

昨日	火災	救急	救助
	0件	17件	0件

今日	火災	救急	救助
	0件	226件	2件

今日1日～現在の累計

今年累計	火災	救急	救助
	12件	2000件	24件

1月1日～現在の累計

外部リンク

- 総務省消防庁
- 消防本部
- 消防防災博物館
- 消防団
- 消防団協力事業所表示制度
- 女性消防士
- Facebook
- 正しい知識と準備！熱中症情報

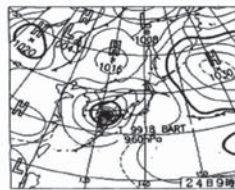
宇城広域連合消防本部ホームページ
(<https://www.ukisyobo.or.jp/>)

◇ 管内一目統計

自然環境 人口・世帯



面積
406.97km²



気象
年間降雨量 1552.0mm
年平均気温 17.7℃



人口
101,823人



世帯数
45,356世帯

消防予算 構成・人事



消防予算
17億16,763千円
住民一人当たり 16,860円



署所
消防本部 1
消防署 2
分署 5



職員数
定数 160人
実員 157人



消防団員数
実員 2,118人
(内女性隊員 53人)

機 械 施 設



ポンプ車等
タンク車 1台
ポンプ車 7台
(ポンプ車非常用) 1台



特殊車両・その他車両
はしご車 1台
救助工作車 2台
化学車 1台
その他車両 17台



救急車
高規格救急車 9台
(高規格救急車非常用) 1台



消防水利
消火栓 1,891基
防火水槽 1,127基
その他消防水利 253基

火 災 救 救 災 急 助



火 災 34件
10.7日に 1件
損害額 46,226千円
救 助 73件



出火原因
①たき火 13件
②不明 6件
③配線器具 5件



救急出場件数 7,214件
搬送人員 6,285人
1日当たり 19.8件



事故種別割合
①急病 63.5%
②転院搬送 14.6%
③一般負傷 13.8%

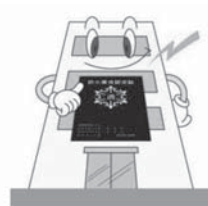
予 防



防火対象物数
法17条 3,865件
防火管理者必要事業所数
法8条 887件



危険物施設数
製造所 5件
貯蔵所 225件
取扱所 169件



**防火対象物
定期点検報告制度**
特例認定事業所 7件
定期点検報告事業所55件



防火クラブ
婦人防火クラブ 10
少年消防クラブ 3
幼年消防クラブ 23

◇ 令和5年度 各種行事

4月	3日	辞令交付式
	7日	熊本県消防長会臨時会（熊本県消防学校）
	7日	熊本県消防学校初任科第68期生55名 宇城(消防職4名、救急救命士職1名)入校式
	10日	熊本県消防長会春季総会（阿蘇市）
	11日	第46回熊本県消防職員意見発表会（阿蘇市）
	27日	全国消防長会九州支部総会（八代市）
5月	11日	宇城広域消防連絡協議会総会（宇城市）
	26日	熊本県消防救助技術大会 陸上の部（有明広域行政事務組合消防本部）
	29日	熊本県消防殉職者慰霊祭（熊本市）
	30日	第75回全国消防長会総会（京都市）6月1日まで
	31日	第46回全国消防職員意見発表会（京都市）
6月	1日	宇城地区危険物安全協会災害対策用資材寄託式（消防本部）
	6日	宇城地域MC協議会総会（消防本部）
	8日	甲種防火管理新規講習（消防本部）9日まで
	27日	第1回宇城広域連合人権・同和問題研修会（消防本部）28日まで
7月	21日	第51回九州地区消防救助技術指導会（宮崎市）
8月	3日	熊本県消防長会総務担当課長会議（あさぎり町）4日まで
	8日	少年消防クラブ消防士体験学習（消防本部）
	31日	熊本県消防長会予防・危険物担当課長会議（菊池市）
9月	9日	うき救急フェア2023（イオンモール宇城）
	14日	熊本県消防長会警防・通信担当課長会議（山鹿市）
	15日	熊本県初任科68期生卒業式（熊本県消防学校）
	17日	宇城広域連合消防職員採用1次試験（不知火中学校）
	26日	熊本県消防長会救急担当課長会議（天草市）
10月	6日	第8回宇城管内消防団員意見発表会（美里町）
	13日	消防実務講習会（大野城市）
	19日	熊本県消防長会秋季総会（人吉市）20日まで
11月	5日	宇城広域連合消防職員採用2次試験（連合事務局）
	8日	第1回安全運転技術研修（交通教育センターレインボー熊本）9日まで
	11日	うき消防ふれあいフェア（宇土シティモール）
	20日	宇城広域消防連絡協議会年末会議（宇土市）
	21日	第1回安全運転教育研修（熊本南自動車学校）
	21日	全国消防長会九州支部消防長研修会（鹿児島市）22日まで

12月	4日	九州地区警防実務研修会（福岡市消防学校）15日まで
	6日	第2回安全運転技術研修（交通教育センターレインボー熊本）7日まで
	11日	宇城地域MC協議会救急業務高度化推進部会（消防本部）
1月	28日	宇城市消防団出初式（宇城市役所）
2月	2日	熊本県消防長会第2回臨時会（熊本市）
	15日	甲種防火管理再講習（消防本部）
	19日	熊本県消防長会総務研修（広報研修）
	25日	宇土市消防団消防点検（宇土市運動公園）
	28日	宇城広域連合消防職員意見発表会（消防本部）
3月	10日	美里町消防点検（美里町カントリーパーク）
	27日	宇城広域消防連絡協議会理事会（連合事務局）
	29日	退任式

◇ 位置と地勢

位置 東経 130度40分 北緯 32度40分
東西 48.6km 南北 18km

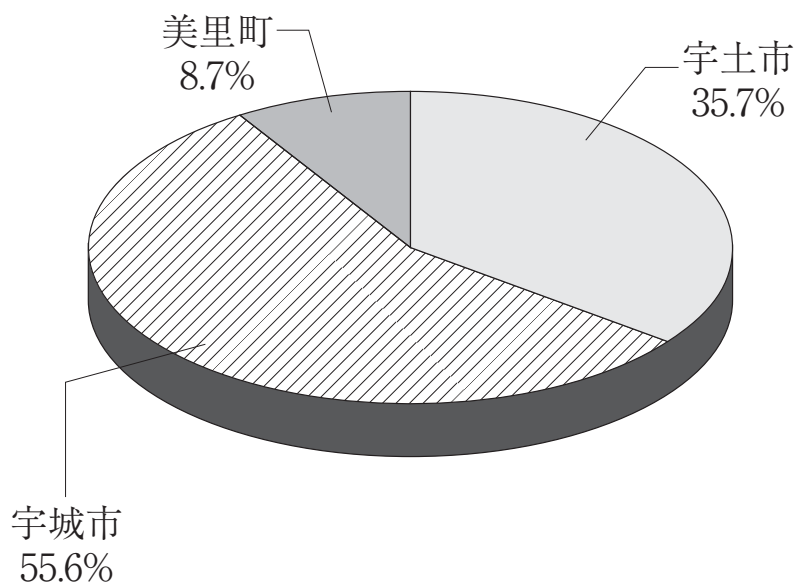
宇城広域連合は、宇土市・宇城市・下益城郡美里町の2市1町で構成されています。有明海に面した熊本県のほぼ中央に位置し、北は熊本市に隣接し、九州縦貫高速自動車道路が中心を縦走しています。その他、主な道路として国道3号線・57号線・218号線・266号線があり、なかでも57号線は天草、雲仙に至る主要観光ルートとなっています。

◇ 面積と人口

(令和6年1月1日現在)

区分 市町別	面積 (km ²)	人 口	世帯数	人口密度
宇 土 市	74.30	36,371	16,035	489.52
宇 城 市	188.67	56,579	25,202	299.88
美 里 町	144.00	8,873	4,119	67.09
計	406.97	101,823	45,356	250.20

各市町人口比率





消防の沿革

年	月	経 過 事 項
昭和40	4	「宇土市外九ヶ町村衛生施設組合」設立
	4	宇土市が常備消防化の政令で指定市となる
	4	宇土市に宇土市消防本部・宇土市消防署を開設(職員18名)
	4	初代消防長に宇土市助役中村篤氏就任
44	6	宇土市の救急業務を開始
45	6	中山正義氏消防長就任
46	9	富合町の救急業務開始(宇土市との応援協定による)
48	6	10か市町村で「宇城広域消防準備協議会」を設置
49	4	「宇城広域消防衛生施設組合」と改称、消防救急業務を加える
	4	初代組合長に大和忠三氏就任
	4	三角町ほか8町村が常備消防化の政令で指定町村となる(人口131,979人、面積463.06km ²)
	4	宇城広域消防本部・宇城消防署(宇土市消防庁舎で)を開設、業務開始
	4	宇城広域消防本部初代消防長に奥村義人氏就任
	4	消防職員定数104名と制定される
	4	宇土市消防職員等38名、管外消防職員8名、新規職員採用16名 計62名で業務開始
	4	第1回組合定例議会招集、組合予算及び条例議決
	4	新規職員16名、初任科第15期派遣、同年6月卒業
	5	組合臨時議会招集、東・中・西各分署建設工事の請負契約を議決
	5	消防団との連絡協調のため「宇城広域消防連絡協議会」を設置
	6	熊本県消防協会より広報車を配車
	7	新規職員28名採用、初任科第16期派遣、同年9月卒業(実員90名)
	7	中分署が仮庁舎にて業務開始
	7	第1回熊本県消防救助技術大会開催(4名出場)
	8	日本船舶協会より救急車の寄贈
	9	東・中・西各分署庁舎落成
	10	東・中・西各分署開署・業務開始
	12	日本自動車工業会より救急車寄贈
50	4	新規職員14名採用、初任科第17期派遣、同年7月卒業(実員104名)
	10	本部・本署庁舎建設を2か年継続事業として着工
51	6	三角海上保安部との間に「海上における船舶火災の消防活動に関する業務協定」締結
	6	消防本部・本署庁舎落成、移転、業務開始
52	2	初代消防長奥村義人氏退任、次長田中昭氏が消防長職務代理者に就任
	7	万坂トンネルにおける事故発生時の応援協定締結
	11	全国火災予防運動週間に伴い、防火ポスターコンクールを実施
53	2	熊本県下一円第二次救急医療体制発足
	4	第1回熊本県消防職員意見発表会で坂下勲消防士が最優秀賞(九州大会努力賞)
	5	第2代消防長に田中昭氏就任
	5	第7回全国消防救助技術大会(千葉市)陸上の部「ほふく救出」、水上の部「人命救助A」出場
	8	日本消防協会より救急車寄贈
	10	九州自動車道における消防相互応援協定締結
	12	九州自動車道松橋IC開通に伴い中分署救急隊設置
	12	消防職員定数(104名を111名に)条例改正
54	4	熊本県防災行政無線開通(本署)
	4	新規職員8名採用、初任科第22期派遣、同年10月卒業(実員111名)
	8	第8回全国消防救助技術大会(大阪市)陸上の部「はしご登はん」、水上の部「人命救助A」「人命救助B」出場
	9	組合臨時議会招集(消防業務を除く天明町加入による規約改正等議決)

年	月	経 過 事 項
55	2	本署：はしご車(24m級)購入(107号車)
	3	本署：日本損害保険協会より化学車寄贈(103号車)
	3	はしご車車庫建設、訓練用水槽設置(本署)
	8	第9回全国消防救助技術大会(名古屋市)陸上の部「ほふく救出」出場
	9	熊本県危険物安全協会宇城支部結成
56	4	教材「消防のしごと」を作成、管内小学校4年生全員に無償配布
	6	火災の激増により特別火災予防運動を行う(1か月)
	8	第10回全国消防救助技術大会(横浜市)陸上の部「はしご登はん」「ほふく救出」出場
	12	消防職員定数(111名を121名に)条例改正
57	4	新規職員12名採用、初任科第25期派遣、同年10月卒業(実員121名)
	4	大和忠三氏組合長退任
	4	田代捨己氏組合長就任
	6	第1回婦人防火教室を開催
	8	第11回全国消防救助技術大会(横浜市)陸上の部「ほふく救出」出場
58	10	城南分駐所庁舎落成、開所、業務開始
	3	(社)日本自動車工業会より救急車寄贈
	4	新規職員1名採用、初任科第26期派遣、同10月卒業(実員121名)
	4	4週5休制試行
	8	第12回全国消防救助技術大会(大阪市)水上の部「基本泳法」出場
59	9	新規職員1名補充採用(実員121名)
	2	60歳定年制条例制定(昭和60年3月31日から施行)
	4	新規職員1名採用、初任科第27期派遣、同10月卒業(実員121名)
	8	第15回熊本県消防ポンプ操法大会(ポンプ車の部)優勝：三角町消防団(第6・8回以来3回目)
60	3	県農業共済組合連合会より救急車寄贈
	6	第11回熊本県消防救助技術大会「水上の部」を宇土市で開催
	8	第14回全国消防救助技術大会(広島市)水上の部「基本泳法」出場
	9	火災情報テレホンサービス開始(10回線TEL23-3211)
61	7	第12回熊本県消防救助技術大会「水上の部」を宇土市で開催
	8	日本消防協会より救急車の寄贈
	8	第16回熊本県消防ポンプ操法大会(小型ポンプの部)優勝：中央町消防団(第2・5回以来3回目)
	9	皇太子、同妃両殿下行啓特別警備本部設置
62	12	救急救助活動に関する消防応援協定締結
	1	特別救助隊設置(本署)
	4	4週5休制本行
	7	宇城幼少年婦人防火委員会発足
63	4	特別救助隊設置(中分署)
	3	救助工作車購入、本署に配備
	4	消防署長宮本眞津夫氏、消防長職務代理者に就任
	7	第15回熊本県消防救助技術大会「水上の部」を宇土市で開催
平成 元年	9	第1回「宇城救急フェア」を宇土市で開催
	10	第1回宇城地区幼年消防大会を宇土市で開催
	2	4週6休制実施
	3	県農業共済組合連合会より救急車寄贈
2	4	新規職員5名採用、初任科第33期派遣、同年10月卒業(実員121名)
	4	本部旗制定
	4	田代捨己氏組合長退任

年	月	経 過 事 項
2	4	西田誠氏組合長就任
	6	宇土市と「緊急通報システム事業委託契約」締結
	7	皇太子殿下啓特別警備本部設置
	8	第1回少年消防クラブ消防署体験学習を開催(1泊2日)
	9	第18回熊本県消防ポンプ操法大会(小型ポンプの部)優勝:松橋町消防団
3	4	三角町、不知火町、城南町と「緊急通報システム事業委託契約」締結
	6	雲仙普賢岳噴火に伴い津波警戒(6月13日~11月30日)
	8	第20回全国消防救助技術大会(大阪市)水上の部「人命救助」出場
4	1	第3代消防長に宮本眞津夫氏就任
	2	熊本県消防大会を宇土市で開催
	3	消防職員定数(121名を131名に)条例改正
	3	通信指令庁舎落成
	6	第1回幼稚園、保育園指導者防火教室開催
5	9	東分署:日本損害保険協会より消防ポンプ車寄贈(202号車)
	10	城南町婦人消防隊、全国婦人消防操法大会で優良賞受賞
	3	消防緊急通信指令施設稼動
	3	消防職員定数(131名を133名に)条例改正
	4	完全週休2日制実施(4週8休)
6	4	管内市町村と初の人事交流(2名)
	4	新規職員12名採用、初任科第36期派遣、同年10月卒業(実員133名)
	4	第16回県消防職員意見発表会で島松一步消防士 最優秀賞(九州大会 優秀賞)
	5	県農業共済組合連合会より救急車の寄贈
	5	通信指令庁舎落成式
	8	第22回全国消防救助技術大会(福岡市)水上の部「基本泳法」出場
	4	新規職員1名採用、初任科第37期派遣、同年10月卒業(実員133名)
	4	救急救命士資格取得、第1号誕生(前田修一消防副士長)
	4	豊野分署開署、業務開始
	4	城南分駐所を城南分署に名称変更
7	5	豊野分署庁舎落成式
	8	第23回全国消防救助技術大会(京都市)水上の部「人命救助」「溺者搬送」出場
	11	宇城幼少年婦人防火委員会、日本防火協会より優良団体として受賞
	3	消防職員定数(133名を143名に)条例改正
	3	宇城広域消防衛生施設組合設立20周年記念誌「20年のあゆみ」を発刊
8	4	新規職員12名採用、初任科第38期派遣、同年10月卒業(実員143名)
	2	住民に対する応急手当普及啓発を目的に普通救命講習会を開催
	3	本署:高規格救急車に更新(105号車)
	4	網田分署開署、業務開始
	5	網田分署庁舎落成式
9	6	第1回シルバー防火教室を開催
	6	第23回熊本県消防救助技術大会「水上の部」宇土市で開催
	8	第26回全国消防救助技術大会(千葉市)水上の部「人命救助」出場
10	4	第4代消防長に伊藤年一氏就任
	4	新規職員3名採用、初任科第41期派遣、同年10月卒業(実員143名)
	4	西分署:県農業共済連合会より救急車寄贈(405号車)
	4	西田誠氏組合長退任
	5	田口信夫氏組合長就任

年	月	経 過 事 項
10	8	第27回全国消防救助技術大会(大阪市)陸上の部「斜めブリッジ救助」出場
11	3	中分署:日本損害保険協会より高規格救急車の寄贈(305号車)
	4	新規職員4名採用、初任科第42期派遣、同年10月卒業(実員142名)
	9	台風18号による高潮被害で不知火町松合地区甚大な被害、12名が死亡
	10	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練初参加
	11	第7回熊本県幼年消防大会を宇土市で開催
12	3	消防職員定数(143名を153名に)条例改正
13	1	本部、署内の情報ネットワーク化開始
	4	第5代消防長に渡辺正孝氏就任
	4	熊本県防災消防航空隊へ隊員1名出向(平成15年3月まで)
	4	新規職員12名採用、初任科第44期派遣、同年10月卒業(実員153名)
	8	熊本県防災消防航空隊と合同救急搬送訓練実施(宇土市防災センター)
	8	第30回全国消防救助技術大会(東京都)水上の部「人命救助」出場
	9	皇太子殿下、不知火町松合高潮被災地ご視察
	10	熊本県消防長会秋季総会(宇土マリーナ)
14	1	「うき防災フェア'02」開催(宇土市民会館)
	4	第6代消防長に松浦孝一氏就任
	4	小川分署開署、業務開始
	4	新規職員2名採用(実員153名)
	4	元消防長田中昭氏勲5等瑞宝章を受章
	5	小川分署庁舎落成式
	7	第28回熊本県消防救助技術大会「水上の部」を宇土市で開催
	11	宇城広域消防衛生施設組合職員に対し衛生管理委員会発足
	12	大規模災害救急救助訓練実施(宇土市体育館周辺)
15	1	「うき防災フェア'03」開催(松橋町:ウイングまつばせ)
	3	宇城広域消防本部マスタープラン策定
	3	熊本県防災消防航空隊へ出向中の隊員出向期間を終了
	4	第7代消防長に磯部義昭氏就任
	4	熊本県防災消防航空隊へ隊員1名出向(平成17年3月まで)
	5	SARS対策マニュアル策定
	6	第2回熊本県救急教育セミナー開催(松橋町:ウイングまつばせ)
	7	水俣市土石流災害で熊本県消防相互応援協定により捜索活動実施
	11	宇城広域消防本部公式ホームページ開設
16	1	「うき防災フェア'04in城南」開催(城南町:火の君総合文化センター)
	6	高機能消防総合指令センター運用開始
	8	第16回全国農業青年交換大会に皇太子殿下御来熊特別警備本部設置(中央町役場で御休憩)
	9	「宇城救急フェア2004」開催(小川町ダイヤモンドシティ)
	10	宇城広域消防本部発足30周年及び高機能消防通信指令センター落成記念式
	10	宇城広域消防衛生施設組合創立30周年記念誌「30周年のあゆみ」を発刊
	10	小木保育園幼年消防クラブ鼓笛隊セット寄託式(城南町)
	11	中央町・砥用町が合併し「美里町」誕生
	11	美里町消防団が発足。11分団、団員総数660名。初代団長に渡辺次義氏就任
17	1	不知火町・三角町・松橋町・小川町・豊野町が合併し「宇城市」が誕生
	1	宇城消防職員意見発表会開催(宇城市小川町「ラポート」)
	1	「うき防災フェア'05in小川」開催(宇城市小川町「ラポート」)
	1	本署:30m級先端屈折はしご付き消防自動車に更新・納車(107号車)

年	月	経 過 事 項
17	4	第8代消防長に杉本貴美男氏就任
	5	宇城MC協議会主催「大規模災害対応訓練」を実施
	9	「宇城救急フェア2005」開催(宇城市小川町「ダイヤモンドシティ熊本南」)
	10	西分署:CAFS搭載ポンプ車に更新(402号車)
	10	第17回全国女性消防操法大会(横浜市)宇土市女性消防隊、準優勝
	11	第7回熊本県下消防大規模災害対応訓練を宇城市三角町で開催
	11	豊野分署:高規格救急車に更新(605号車)
18	1	「うき防災フェア'06in富合」開催(富合町役場前及び「アスパル富合」)
	1	東分署:高規格救急車に更新(205号車)
	3	熊本県防災消防航空隊へ出向中の隊員出向期間を終了
	4	新規職員5名採用(消防職4名、救急救命士職1名)、初任科第49期派遣(実員154名)
	4	第29回熊本県消防職員意見発表会を富合町「アスパル富合」で開催
	8	第35回全国消防救助技術大会(札幌市)陸上の部「ロープブリッジ救出」出場
	9	「宇城救急フェア2006」開催(宇土市「宇土シティ」)
	11	第1回宇城地区女性消防軽可搬ポンプ操法大会開催(宇土市防災センター)
	11	まこと幼稚園幼年消防クラブ鼓笛隊セット寄託式(宇城市松橋町)
	11	東分署:CAFS搭載ポンプ車に更新(202号車)
19	11	元消防司令長、本田勝嘉氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝単光章を受章
	1	「うき防災フェア'07in美里」開催(美里町役場中央庁舎)
	1	網田分署:高規格救急車に更新(805号車)
	4	宇城管内五つの一部事務組合と宇城広域連合が統合される
	4	宇城広域連合との統合により「宇城広域消防衛生施設組合」から「宇城広域連合」へ
	4	初代連合長に田口信夫氏就任
	4	第9代消防長に中島幸義氏就任
	4	熊本県防災消防航空隊へ隊員1名出向(平成22年3月まで)
	4	新規職員6名採用(消防職6名)、初任科第50期派遣(実員155名)
	7	美里町豪雨災害で早楠地区、柏川地区、坂本地区他甚大な被害
	8	第36回全国消防救助技術大会(東京都)陸上の部「ロープブリッジ救出」出場
	9	「宇城救急フェア2007」開催(宇城市小川町「ダイヤモンドシティ・バリュー」)
	10	第2回宇城地区女性消防軽可搬ポンプ操法大会開催(宇城市豊福グラウンド)
	10	第一幼稚園幼年消防クラブ鼓笛隊セット寄託式(富合町)
	11	南消防署庁舎落成式、救助工作車配備
	11	三角分署:高規格救急車に更新(405号車)
20	1	「うき防災フェア'08in宇土」開催(宇土市民体育館周辺)
	4	新規職員7名採用(消防職5名、救急救命士職2名内女性消防士2名)初任科第51期派遣(実員159名)
	4	元消防司令長中島義春氏、元消防司令長岩村克己氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝単光章を受章
	8	第37回全国消防救助技術大会(北九州市)陸上の部「はしご登はん」「引揚救助」出場
	9	「宇城救急フェア2008」開催(宇土市「宇土シティ」)
	10	わかき保育園幼年消防クラブ鼓笛隊セット寄託式(宇城市三角町)
	11	元消防正監宮本眞津夫氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章を受章
	12	城南分署:高規格救急車に更新(505号車)
21	1	「うき防災フェア'09in宇城」開催(宇城市役所周辺)
	2	宇城広域消防本部携帯サイト運用開始
	4	第10代消防長に河野富寛氏就任
	4	新規職員5名採用(消防職4名、救急救命士職1名内女性消防士1名)初任科第52期派遣(実員160名)
	8	FAX119番・Eメール119番運用開始

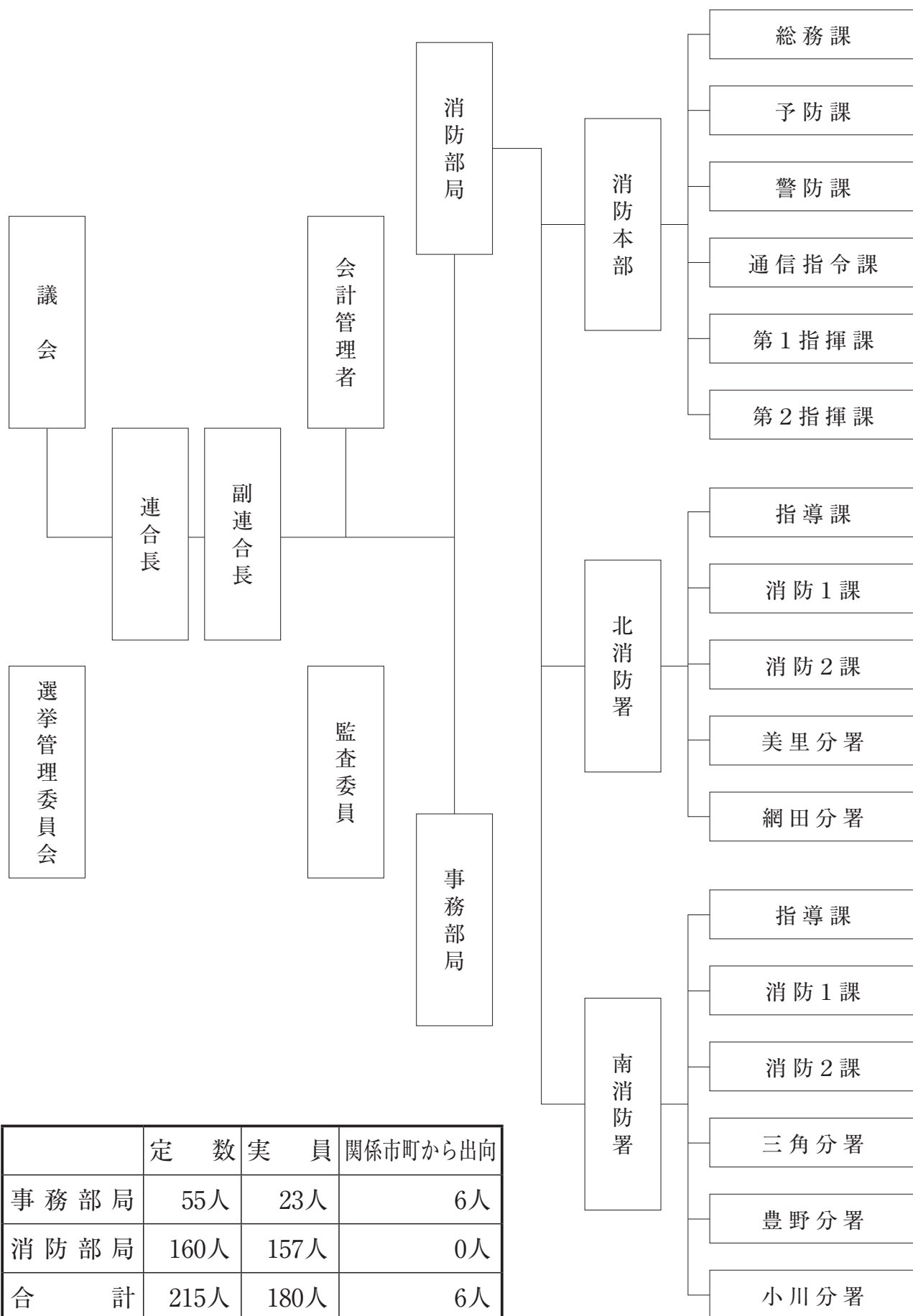
年	月	経 過 事 項
21	8	第1回熊本県女性消防操法大会開催(城南町「火の君総合文化センター」)
	10	第19回全国女性消防操法大会(横浜市)美里町女性消防隊、準優勝
	11	元消防監佐方大和氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
22	1	「うき防災フェア'10in城南」開催(城南町:火の君総合文化センター)
	4	第11代消防長に橘忠義氏就任
	4	新規職員12名採用(消防職10名、救急救命士職2名)初任科第53期派遣(実員162名)
	4	元消防正監渡辺正孝氏、元消防監前田大和氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
	4	田口信夫氏退任
	4	篠崎鐵男氏就任
	11	元消防監高山正辰氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝単光章受章
23	1	「うき防災フェア'11in美里」開催(美里町役場中央庁舎)
	3	緊急消防援助隊宇城隊(第1次、第2次計12名、車両2台)が東日本大震災の被災地(宮城県仙台市)へ出動(3月14日から3月23日まで)
	4	新規職員8名採用(消防職8名)初任科第54期派遣(実員163名)
	4	指揮隊設置(南消防署配置)
	8	第2回熊本県女性消防操法大会開催(宇城市役所)
23	10	第20回全国女性消防操法大会(横浜市)美里町女性消防隊、準優勝
	11	元消防正監松浦孝一氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
24	1	小川分署:救急車を高規格救急車に更新(905号車)
	1	「うき防災フェア'12in宇土」開催(宇土シティモール)
	2	携帯電話位置情報システム(統合型)運用開始
	2	南消防署:化学消防車を更新(303号車)
	3	「うき防火防災写真展」開催(宇土シティモール)
	4	新規職員9名採用(消防職8名、救急救命士職1名)初任科第55期派遣(実員161名)
	7	九州北部大災害による大規模災害応援(阿蘇市)
	9	熊本県下大規模災害対応訓練参加(吉無田高原)
	10	堅志田保育園幼年消防クラブ和太鼓セット寄託式(美里町)
	12	北消防署:ポンプ車(102号車)、南消防署ポンプ車(302号車)更新
25	1	「うき防災フェア'13in宇城」開催(宇城市役所)
	2	篠崎鐵男氏退任
	2	守田憲史氏就任
	4	第12代消防長に坂下勲氏就任
	4	新規職員7名採用(消防職7名)内6名初任科第56期派遣(実員161名)
	4	宇城広域連合へ人事交流のため1名派遣(2年間)
	8	第42回全国消防救助技術大会(広島市)陸上の部「はしご登はん」出場
	10	小木保育園幼年消防クラブ和太鼓セット寄託式(城南町)
	11	熊本県下消防大規模災害対応訓練参加(水俣市)
	11	宇城市婦人防火クラブが自治体消防65周年記念表彰受賞
26	1	「うき防災フェア'14in美里」開催(美里町役場中央庁舎)
	2	北消防署:資機材搬送車(110号車)更新
	3	高機能消防指令センター・消防救急デジタル無線システム運用開始
	3	熊本市が宇城広域連合から脱退(熊本市南区富合町・城南町が管轄から外れる)
	4	新規職員4名採用(消防職3名、救急救命士職1名)内3名初任科第58期派遣(実員152名)
	4	熊本県防災消防航空隊1名派遣(3年間)
	4	元消防司令堀田正男氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝単光章受章
	7	宇城市小川町「松崎製材所」火災

年	月	経 過 事 項
26	9	砥用音楽幼稚園幼年消防クラブ鼓笛隊セット寄託式(美里町)
27	1	「うき防災フェア'15in宇土」開催(宇土シティモール)
	2	北消防署:高規格救急車(105号車)更新
	4	新規職員7名採用(消防職5名、救急救命士職2名)内6名初任科第59期派遣(実員150名)
	4	元消防正監杉本貴美男氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
	4	元消防司令佐伯勇氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝単光章受章
	9	初任科第60期1名派遣(平成28年2月卒業)
	9	轟保育園幼年消防クラブ鼓笛セット寄託式(宇土市)
	10	熊本県下消防大規模災害対応訓練参加(阿蘇市)
	11	元消防監中園久道氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
28	1	「うき消防ふれあいフェア」開催(イオンモール宇城):防災フェアから名称変更
	4	第13代消防長に岩本和也氏就任
	4	新規職員7名採用(消防職6名、救急救命士職1名)初任科第61期派遣(実員145名)
	4	再任用制度運用開始(再任用職員6名採用)
	4	平成28年熊本大震災により県下に甚大な被害が発生
	6	集中豪雨による土砂災害で人的被害が発生(宇土市住吉町、椿原町)
	8	第45回全国消防救助技術大会(松山市)陸上の部「応用登はん」、水上の部「基本泳法」出場
	11	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(長崎県島原市)
	11	「うき消防ふれあいフェア」開催(宇土シティモール)
29	3	消防本部警防課:指令車(701号車)、南消防署:指令車(301号車)、南消防署:高規格救急車(305号車)、美里分署:高規格救急車(205号車)更新
	4	新規職員5名採用(消防職4名、救急救命士職1名)初任科第62期派遣(実員145名)
	4	元消防監中島幸義氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
	4	元消防司令長黒田健次氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝単光章受章
	7	緊急消防援助隊宇城隊(第1次から第7次計37名)が九州北部豪雨のため(福岡県朝倉市・大分県日田市)へ出動(7月5日から7月25日まで)
	9	「うき救急フェア2017」開催(イオンモール宇城)
	10	正副連合長先進地視察研修(茨城県)
	11	元消防司令長野口幸氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
	11	「うき消防ふれあいフェア」開催(宇土シティモール)
	11	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加(佐賀県武雄市)
	11	消防本部:連絡車(704号車)、豊野分署:高規格救急車(605号車)、網田分署:高規格救急車(805号車)、三角分署:高規格救急車(405号車)更新
30	3	幼年消防クラブ「防火啓発パレード」実施(イオンモール宇城)
	3	自治体消防制度70周年記念式典及び自治体活性化大会(東京都墨田区:国技館)
	4	新規職員2名採用(消防職2名)初任科第63期派遣(実員146名)
	6	宇城広域連合消防本部・北消防署新庁舎耐震建設基本構想策定
	8	第47回全国消防救助技術大会(京都市)陸上の部「ほふく救出」(台風20号等の影響により中止)
	9	「うき救急フェア2018」開催(イオンモール宇城)
	11	「うき消防ふれあいフェア」開催(イオンモール宇城)
	11	消防本部:予防査察車(702号車)更新
31	3	美里分署:連絡車(201号車)更新
	3	宇城広域連合消防本部・北消防署新庁舎耐震建設基本計画策定
	4	第14代消防長に坂本勝夫氏就任
	4	新規職員10名採用(消防職9名、救急救命士職1名)内9名初任科第64期派遣(実員152名)
	4	元消防監河野富寛氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
令和元年	8	緊急消防援助隊宇城隊(第1次隊10名)が令和元年佐賀豪雨のため佐賀県武雄市へ出動(8月28日から8月31日まで)

年	月	経 過 事 項
令和 元年	9	「うき救急フェア2019」開催(イオンモール宇城)
	11	「うき消防ふれあいフェア」開催(宇土シティモール)
2	3	南消防署:救助工作車(308号車)更新
	3	総務省消防庁から無償貸与された緊急消防援助隊の中型水陸両用車及び搬送車を県内(九州)で初めて導入し南消防署に配備
	4	新規職員6名採用(消防職5名、救急救命士職1名)初任科第65期派遣(実員152名)
	7	県内相互応援隊(計49名)が令和2年7月豪雨のため(水俣市、津奈木町、鏡町、人吉市)へ出動(7月4日から8月1日まで)
	7	令和2年7月豪雨の発生による熊本県南部地域豪雨災害の伴う合同一斉捜索(7月20日、21日)
	11	元消防司令福永光氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝単光章受章
	12	消防職員定数(155名を160名に)条例改正
3	3	小川分署:消防自動車(902号車)更新
	4	第15代消防長に釜賀浩幸氏就任
	4	新規職員10名採用(消防職9名、救急救命士職1名)初任科第66期派遣(実員156名)
	4	元消防司令長園田幸二氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
4	3	北消防署:高規格救急車(106号車)更新
	4	新規職員3名採用(消防職3名)初任科第67期派遣(実員159名)
	8	宇城広域連合消防本部・北消防署新庁舎落成式 中型水陸両用車及び搬送車を北消防署へ配置換え
	11	「うき消防ふれあいフェア」開催(宇土シティモール)
	11	南消防署:高規格救急車(306号車)更新
	11	元消防司令長吉川憲行氏、福永生一氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章
5	3	三角分署:消防自動車(402号車)更新
	4	新規職員5名採用(消防職4名、救急救命士職1名)初任科第68期派遣(実員158名)
	5	元消防司令水野司氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝単光章受章
	7	小川分署:高規格救急車(905号車)更新
	11	「うき消防ふれあいフェア」開催(宇土シティモール)
	12	元消防司令長木下良輔氏、齊藤澄夫氏(危険業務従事者叙勲)瑞宝双光章受章

◇ 宇城広域連合機構図

(令和6年4月1日現在)



◇ 定数及び任期

定 数	関係市町名	議 員	連合長	副連合長	会計管理者	監査委員
	宇 土 市	3	関係市町の長のうちから、関係市町の長が投票によりこれを選挙する。	広域連合長に選任された市町の長以外の関係市町の長をもって充てる。	広域連合長の補助機関である職員のうちから、広域連合長が命ずる。	識見を有する者 2名
	宇 城 市	5				
	美 里 町	2				
	計	10				
任 期		関係市町の議会の議員として任期とする。	広域連合長及び副広域連合長の任期は、関係市町の長としての任期による。		—	識見を有する者 4年 広域連合議員 議員の任期

◇ 歴代組合長及び連合長

歴 代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初 代	大 和 忠 三	昭和49年 4月 1日	昭和57年 4月28日
第 2 代	田 代 捨 己	昭和57年 4月30日	平成 2年 4月28日
第 3 代	西 田 誠	平成 2年 4月29日	平成10年 4月28日
第 4 代	田 口 信 夫	平成10年 5月 8日	平成19年 3月31日
初 代 連 合 長	田 口 信 夫	平成19年 4月 1日	平成22年 4月28日
第 2 代	篠 崎 鐵 男	平成22年 4月30日	平成25年 2月26日
第 3 代	守 田 憲 史	平成25年 2月27日	現 在 に 至 る

◇ 歴代消防長

歴 代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初 代	奥 村 義 人	昭和49年 4月 1日	昭和52年 2月 1日
第 2 代	田 中 昭	昭和53年 5月 1日	平成元年 3月31日
第 3 代	宮 本 眞津夫	平成 4年 1月 1日	平成10年 3月31日
第 4 代	伊 藤 年 一	平成10年 4月 1日	平成13年 3月31日
第 5 代	渡 辺 正 孝	平成13年 4月 1日	平成14年 3月31日
第 6 代	松 浦 孝 一	平成14年 4月 1日	平成15年 3月31日
第 7 代	磯 部 義 昭	平成15年 4月 1日	平成17年 3月31日
第 8 代	杉 本 貴美男	平成17年 4月 1日	平成19年 3月31日
第 9 代	中 島 幸 義	平成19年 4月 1日	平成21年 3月31日
第 10 代	河 野 富 寛	平成21年 4月 1日	平成22年 3月31日
第 11 代	橋 忠 義	平成22年 4月 1日	平成25年 3月31日
第 12 代	坂 下 勲	平成25年 4月 1日	平成28年 3月31日
第 13 代	岩 本 和 也	平成28年 4月 1日	平成31年 3月31日
第 14 代	坂 本 勝 夫	平成31年 4月 1日	令和 3年 3月31日
第 15 代	釜 賀 浩 幸	令和 3年 4月 1日	令和 6年 3月31日
第 16 代	島 松 一 歩	令和 6年 4月 1日	現 在 に 至 る

◇ 消防庁舎の現況（１）



署 所 名	消防本部・北消防署
所 在 地	宇土市境目町427
構 造	鉄筋コンクリート一部鉄骨造 3 階建
建 築 面 積	1,891.89㎡
延 べ 面 積	3,138.79㎡
敷 地 面 積	9,264.35㎡
建 築 年 月 日	令和 4 年 3 月 25 日



署 所 名	北消防署 美里分署
所 在 地	下益城郡美里町大窪837-5
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建
建 築 面 積	272.0㎡
延 べ 面 積	260.2㎡
敷 地 面 積	975.6㎡
建 築 年 月 日	昭和49年 9 月 30 日



署 所 名	北消防署 網田分署
所 在 地	宇土市上網田町3651-1
構 造	鉄骨造平屋建
建 築 面 積	397.1㎡
延 べ 面 積	363.5㎡
敷 地 面 積	2,958.0㎡
建 築 年 月 日	平成 8 年 3 月 13 日

◇ 消防庁舎の現況（２）



署 所 名	南消防署
所 在 地	宇城市松橋町豊崎1547-1
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建
建 築 面 積	1,029.7㎡
延 べ 面 積	1,552.7㎡
敷 地 面 積	11,408.0㎡
建 築 年 月 日	平成19年10月30日



署 所 名	南消防署 三角分署
所 在 地	宇城市三角町中村101-4
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建
建 築 面 積	316.0㎡
延 べ 面 積	299.7㎡
敷 地 面 積	1,020.53㎡
建 築 年 月 日	昭和49年 9 月30日



署 所 名	南消防署 豊野分署
所 在 地	宇城市豊野町山崎385-1
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建
建 築 面 積	331.2㎡
延 べ 面 積	315.5㎡
敷 地 面 積	3,565.1㎡
建 築 年 月 日	平成 6 年 3 月22日



署 所 名	南消防署 小川分署
所 在 地	宇城市小川町南部田130-1
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建
建 築 面 積	442.8㎡
延 べ 面 積	368.6㎡
敷 地 面 積	2,884.0㎡
建 築 年 月 日	平成14年 3 月15日

◇ 常備消防予算の概要

(歳入)

(単位：千円)

款	項	令和 6 年度	令和 5 年度	比較	伸率 (%)
分担金及び負担金	負 担 金	1,569,862	1,580,247	△ 10,385	△ 0.66
使用料及び手数料	使 用 料	102	102	0	0.00
使用料及び手数料	手 数 料	1,750	1,750	0	0.00
県 支 出 金	県 補 助 金	100	0	100	－
県 支 出 金	委 託 金	186	186	0	0.00
財 産 収 入	財 産 運 用 収 入	0	0	0	－
繰 入 金	基 金 繰 入 金	0	34,889	△ 34,889	△ 100.00
諸 収 入	雑 入	7,763	132	7,631	5781.06
広 域 連 合 債	広 域 連 合 債	137,000	98,100	38,900	39.65
歳 入 合 計		1,716,763	1,715,406	1,357	0.08

(歳出)

(単位：千円)

款 (目)	令和 6 年度	令和 5 年度	比較	伸率 (%)
消 防 費 (常備消防費)	1,360,184	1,275,388	84,796	6.65
消 防 費 (消防施設費)	165,732	265,240	△ 99,508	△ 37.52
公 債 費	187,847	171,778	16,069	9.35
予 備 費	3,000	3,000	0	0.00
歳 出 合 計	1,716,763	1,715,406	1,357	0.08

令和 6 年度市町別一般会計予算と消防予算 (当初)

(単位：百万円)

市町	区分	一般会計予算	消防費予算	消防費内訳			一般会計と 消防費の比率 (%)
				常備	非常備	その他	
宇 土 市		22,740.0	762.5	527.4	120.7	114.4	3.35
宇 城 市		35,392.2	1,202.2	828.4	160.3	213.5	3.40
美 里 町		7,329.0	570.1	214.0	30.8	325.3	7.78
合 計		65,461.2	2,534.8	1,569.8	311.8	653.2	3.87

消 防 現 況

- ◇ 事務分掌
- ◇ 消防職員の状況
- ◇ 年齢別職員数
- ◇ 勤続年数別職員数
- ◇ 消防力の整備指針による
基準消防力と現有消防力
- ◇ 消防力現勢配置図
- ◇ 協定書に基づく応援等について
- ◇ 階級別特殊技能取得状況
- ◇ 消防資器材の現有状況
- ◇ 消防通信系統図
- ◇ 119受信状況
- ◇ 気象状況



高機能消防指令センター

(令和4年8月運用開始)



事務分掌（消防本部）

（令和6年4月1日現在）

総務課	財政係	(1) 渉外に関する事。 (2) 予算その他財政一般に関する事。 (3) 庁舎及び諸施設の維持管理に関する事。 (4) 貸与品に関する事。 (5) 物品の出納、保管、購入契約等に関する事。 (6) 会計支払、支出負担行為調書及び支出証票に関する事。 (7) 経理に関する事。 (8) その他財政係の分掌として適当とする事項
	総務係	(1) 職員の定数、配置、人事及び勤務に関する事。 (2) 消防長会及び消防協会の事務に関する事。 (3) 消防職員委員会に関する事。 (4) 職員の福利厚生に関する事。 (5) 職員の任免、分限、懲戒、服務、賞罰その他身分に関する事。 (6) 職員の採用試験、昇任試験等に関する事。 (7) 職員の人事記録の管理に関する事。 (8) 職員の研修、教養及び監察に関する事。 (9) 叙勲及び各種表彰に関する事。 (10) 職員育成に関する調査研究に関する事。 (11) 職員の給与に関する事。 (12) 職員の公務災害及び健康管理に関する事。 (13) 公印に関する事。 (14) 旅費の請求に関する事。 (15) 文書の収発、分類及び整理に関する事。 (16) その他総務係の分掌として適当とする事項
	企画広報係	(1) 組織制度及び組織運営に係る企画調査研究並びに総合企画調整の実施に関する事。 (2) 消防関係例規の成案審査、制定手続等に関する事。 (3) 消防統計に関する事。 (4) 消防行政の調査研究に関する事。 (5) 月刊誌及び季刊誌の発行に関する事。 (6) 消防広報に関する事。 (7) 消防年報の作成に関する事。 (8) ホームページの運営に関する事。 (9) その他企画広報係の分掌として適当とする事項
	危険物係	(1) 危険物製造所等の許可、認可等の規制及び検査、指導に関する事。 (2) 危険物取扱者の指導育成に関する事。 (3) 危険物施設の違反処理に関する事。 (4) 指定可燃物の規制に関する事。 (5) 少量危険物の規制に関する事。 (6) 液化石油ガス等に関する事。 (7) 電気工作物に関する事。 (8) 火薬類消費許可等に関する事。 (9) 高圧ガスに関する事。 (10) 危険物安全協会の推進に関する事。 (11) その他危険物係の分掌として適当とする事項
予防課	予防係	(1) 防火防災思想の普及指導及び防火広報に関する事。 (2) 防火管理者の講習及び育成指導に関する事。 (3) 火災予防及び運動等の事務に関する事。 (4) 防火委員会及び消防協会の事務に関する事。 (5) 予防調査、報告事務に関する事。 (6) その他予防係の分掌として適当とする事項

予 防 課	指 導 係	(1) 防火対象物の調査、検査及び指導に関すること。 (2) 防火対象物の違反処理に関すること。 (3) 建築確認の同意事務に関すること。 (4) 予防関係届出等の指導及び処理に関すること。 (5) その他指導係の分掌として適当とする事項
警 防 課	警 防 係	(1) 警防対策、計画の調査、研究、立案及び実施に関すること。 (2) 非常災害時の対策に関すること。 (3) 国民保護に関すること。 (4) 消防相互応援に関すること。 (5) 火災調査に関すること。 (6) 火災等の災害報告及びその統計に関すること。 (7) り災証明に関すること。 (8) 消防団に関すること。 (9) 職員の教養及び安全管理に関すること。 (10) 開発行為の協議に関すること。 (11) 救助業務、計画、訓練、統計、研究及び指導に関すること。 (12) 水難救護に関すること。 (13) その他警防係の分掌として適当とする事項
	救 急 係	(1) 救急業務、計画、訓練、統計、研究及び指導に関すること。 (2) 応急手当の普及啓発に関すること。 (3) 救急医療機関との連絡調整に関すること。 (4) メディカルコントロール体制の推進に関すること。 (5) 救急事後検証に関すること。 (6) その他救急係の分掌として適当とする事項
	装 備 係	(1) 機械器具の部品、消耗品及び燃料等に関すること。 (2) 機械器具の維持管理及び点検整備に関すること。 (3) 機械器具の研究及び改善に関すること。 (4) 車両等の配備運用計画に関すること。 (5) 機関員の技術管理に関すること。 (6) その他装備係の分掌として適当とする事項
通 信 指 令 課	通 信 係	(1) 消防通信の運用に関すること。 (2) 消防通信施設及び器具の整備保全並びに管理運用に関すること。 (3) 消防通信に係る調査及び研究に関すること。 (4) 防災行政無線の運用に関すること。 (5) その他通信係の分掌として適当とする事項
	情 報 管 理 係	(1) 火災、救急その他災害現場の指令管制及び支援情報の伝達等に関すること。 (2) 気象情報、災害情報等及び救急医療情報の収集、連絡に関すること。 (3) 関係機関への連絡に関すること。 (4) 職員の非常招集に関すること。 (5) 火災等災害統計に関すること。 (6) その他情報管理係の分掌として適当とする事項
指 揮 課	指 揮	(1) 各種情報の収集及び整理に関すること。 (2) 災害等の実態把握に関すること。 (3) 出場隊の把握及び安全管理に関すること。 (4) 災害現場広報に関すること。 (5) 職員の安全管理及び技能指導に関すること。 (6) 警防訓練計画の策定に関すること。 (7) 関係資料の確保及び関係機関との連携に関すること。 (8) その他指揮課の分掌として適当とする事項



事務分掌（消防署）

指導課	指導係	(1) 署員の教養及び教育訓練に関すること。 (2) 自主防災並びに防火思想の普及啓発及び指導育成に関すること。 (3) 防火委員会の事務に関すること。 (4) 防火対象物の調査、検査及び指導に関すること。 (5) 防火対象物の違反処理に関すること。 (6) 建築確認の同意事務に関すること。 (7) 予防関係届出等の指導及び処理に関すること。 (8) 指定可燃物の規制に関すること。 (9) 少量危険物の規制に関すること。 (10) その他指導係の分掌として適当とする事項
消防課	消防係	(1) 警防計画及び訓練に関すること。 (2) 火災の警戒防御に関すること。 (3) 水火災その他特殊災害に関すること。 (4) 消防地理及び水利に関すること。 (5) 火災の原因及び損害の調査に関すること。 (6) 火災業務の報告及び統計に関すること。 (7) 消防機械器具の維持管理に関すること。 (8) 車両の運行管理に関すること。 (9) 消防団の訓練指導に関すること。 (10) 署員の教養及び教育訓練に関すること。 (11) 庁舎施設見学に関すること。 (12) 管内住民、事業所、団体等の消防訓練指導事務及び防火防災思想の普及指導及び育成に関すること。 (13) 消防広報及び消防相談に関すること。 (14) 署員の服務、規律及び教養に関すること。 (15) その他消防係の分掌として適当とする事項
	予防係	(1) 署員の教養及び教育訓練に関すること。 (2) 自主防災及び防火思想の普及啓発並びに指導育成に関すること。 (3) 防火対象物の調査、検査及び指導に関すること。 (4) 建築確認の同意事務に関すること。 (5) 予防関係届出等の指導及び処理に関すること。 (6) 指定可燃物の規制に関すること。 (7) 少量危険物の規制に関すること。 (8) その他予防係の分掌として適当とする事項
	救急係	(1) 救急業務に関すること。 (2) 救急訓練計画及び指導実施に関すること。 (3) 救急業務の報告及び統計に関すること。 (4) 救急資機材の維持管理に関すること。 (5) 関係医療機関に関すること。 (6) 救急の知識・技術の普及啓発に関すること。 (7) 署員の救急関連教育訓練に関すること。 (8) その他救急係の分掌として適当とする事項
	救助係	(1) 救助業務に関すること。 (2) 救助業務の報告及び統計に関すること。 (3) 隊員の教育訓練に関すること。 (4) 署員の救助関連教育訓練に関すること。 (5) 救助活動の諸計画に関すること。 (6) その他救助係の分掌として適当とする事項

◇ 事務分掌（分署）

分署	消防係	(1) 警防計画及び訓練に関すること。 (2) 火災の警戒防御に関すること。 (3) 水火災その他特殊災害に関すること。 (4) 消防地理及び水利に関すること。 (5) 火災の原因及び損害の調査に関すること。 (6) 火災業務の報告及び統計に関すること。 (7) 消防機械器具の維持管理に関すること。 (8) 車両の運行管理に関すること。 (9) 消防団の訓練指導に関すること。 (10) 予防事務に関すること。 (11) 庁舎施設見学に関すること。 (12) 管内住民、事業所、団体等の消防訓練指導事務及び防火防災思想の普及指導及び育成に関すること。 (13) 消防広報及び消防相談に関すること。 (14) 署員の教養及び教育訓練に関すること。 (15) 署員の服務、教養その他庶務に関すること。 (16) その他消防係の分掌として適当とする事項
	救急係	(1) 救急業務に関すること。 (2) 救急訓練計画及び指導実施に関すること。 (3) 救急業務の報告及び統計に関すること。 (4) 救急資機材の維持管理に関すること。 (5) 関係医療機関に関すること。 (6) 救急の知識・技術の普及啓発に関すること。 (7) 署員の救急関連教育訓練に関すること。 (8) その他救急係の分掌として適当とする事項
	予防係	(1) 署員の教養及び教育訓練に関すること。 (2) 自主防災及び防火思想の普及啓発並びに指導育成に関すること。 (3) 防火対象物の調査、検査及び指導に関すること。 (4) 建築確認の同意事務に関すること。 (5) 予防関係届出等の指導及び処理に関すること。 (6) 指定可燃物の規制に関すること。 (7) 少量危険物の規制に関すること。 (8) その他予防係の分掌として適当とする事項

◇ 消防職員の状況

消防職員は、住民の安全を守る防災担当者として、火災の防ぎよ、救急、救助その他のあらゆる災害の防除のため、日夜その責務を担って業務遂行に当たり住民の安全確保に努めています。

(令和6年4月1日現在)

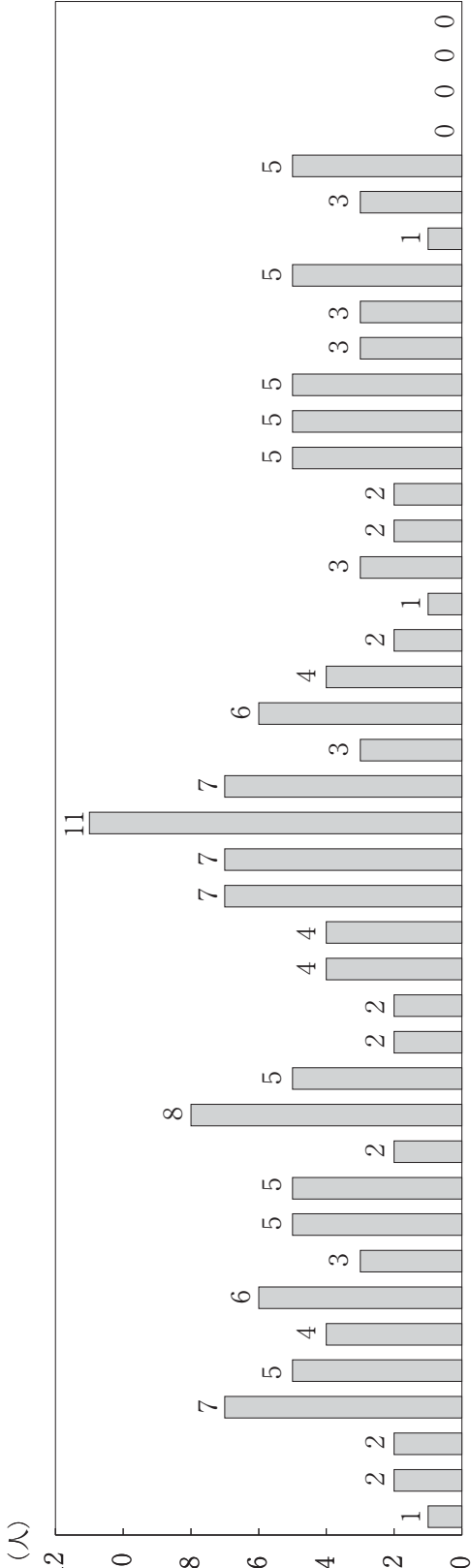
階級等別 所 属		消防吏員							事務 職員	計
		消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士		
消 防 本 部	消 防 長	1								1
	次 長									0
	総 務 課		1	1	3	2			(1)	7(1)
	予 防 課		1	1	1	2	1			6
	警 防 課		1	1	1	1	1			5
	通信指令課			3	2	1	1			7
	指 揮 課			4		2				6
	派 遣 ・ 研 修 等					1		4		5
消 防 署	北 消 防 署		1	3	5	10	6	4		29
	美 里 分 署			2	3	7	3	1		16
	網 田 分 署			2	1	4		3		10
	南 消 防 署		1	3	5	13	2	5		29
	三 角 分 署			2	3	6	5			16
	豊 野 分 署			2	1	5	2			10
	小 川 分 署			2		4	4			10
計		1	5	26	25	58	25	17	(1)	157(1)

() は会計年度任用職員



年齢別職員数

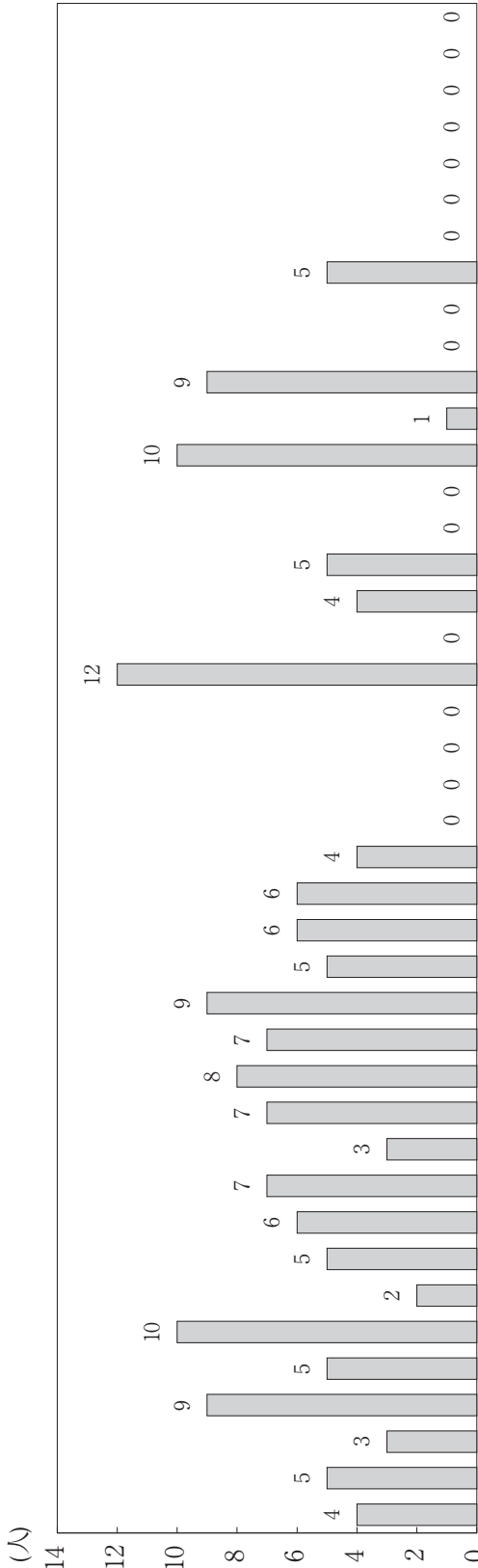
(令和6年4月1日現在)



階級		年齢		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	合計	平均年齢
消防 監																																														1	55.0
消防司令長																																														5	54.2
消防司令																																														26	49.5
消防司令補																																														25	43.0
消防士長														2	7	4	2	2	4	4	7	7	10	5	2	1																				58	28.1
消防副士長															1	1																														25	25.2
消防士		1	2	2	7	4							1																																17	21.1	
事務職員																																													0		
合計		1	2	2	7	5	4	6	3	5	5	5	2	8	5	2	2	4	4	7	7	11	7	3	6	4	2	1	3	2	2	5	5	5	3	3	5	1	3	5	0	0	0	157	33.8		
年代別人員		27								23				17				35				19				16				15				5				157									
構成比		17.2								14.6				10.8				22.3				12.1				10.2				9.6				3.2				100.0									

(令和 6 年 4 月 1 日現在)

◇ 勤続年数別職員数



勤続年 階級		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	合計	
消 防 監																																												1	1
消防司令長																																												2	5
消 防 司 令																																												2	26
消防司令補																																												2	25
消 防 士 長																																												8	58
消防副士長																																												1	25
消 防 士	4	5	3	4	1																																							17	
事 務 職 員																																												0	0
合 計	4	5	3	9	5	10	2	5	6	7	3	7	8	7	9	5	6	6	4	0	0	0	0	0	12	0	4	5	0	10	1	9	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	157	
年代別人員	26				30				34				21				12				19				15				0																



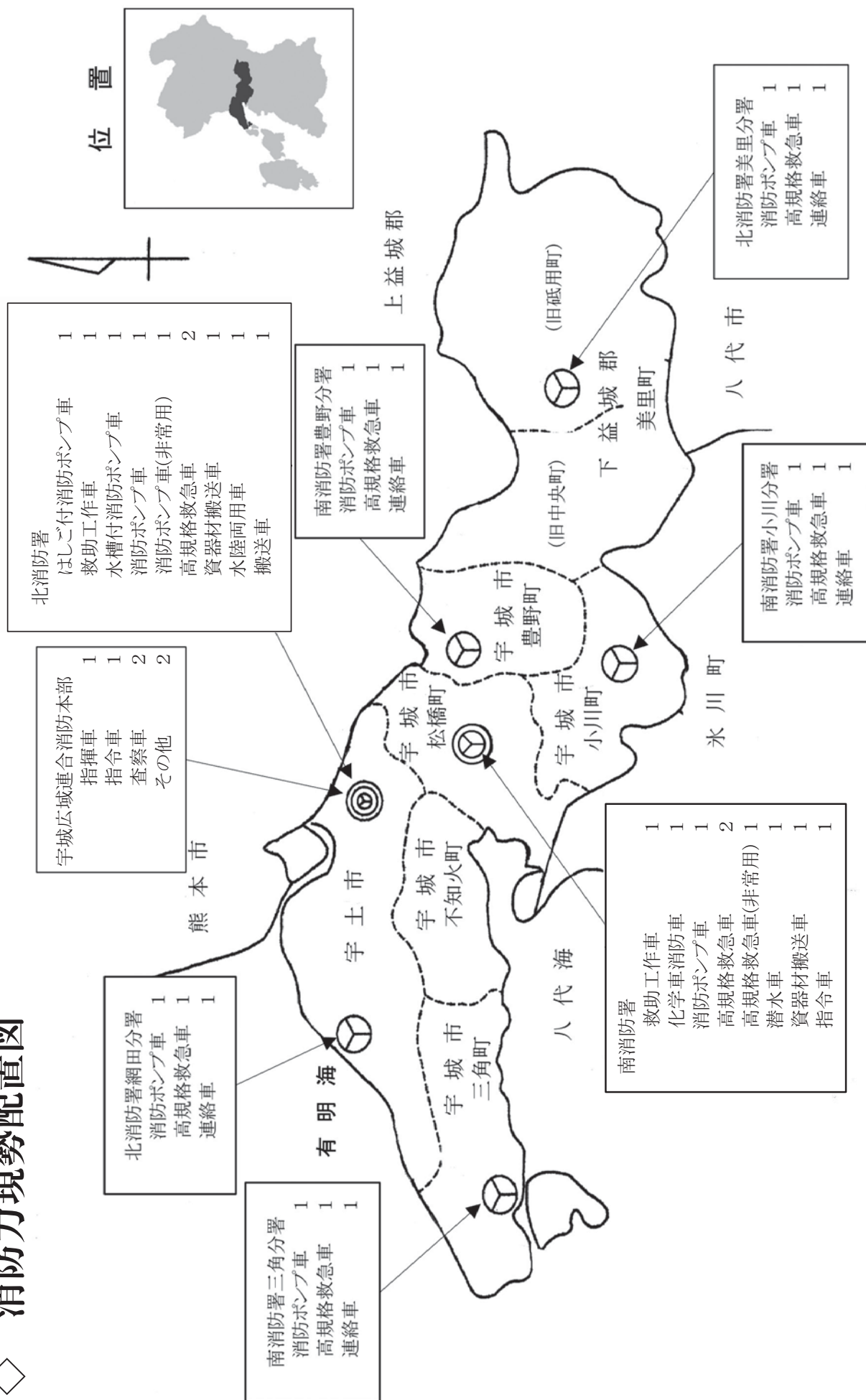
消防力の整備指針による基準消防力と現有消防力

(令和6年4月1日現在)

署 所	区 分	基準数	現有数	充 足 率 (%)	備 考
	市 街 地	2	2	100.0	
	そ の 他	5	5	100.0	
消防自動車等	消防ポンプ自動車	8	8	100.0	水槽付ポンプ車含む
	はしご付消防ポンプ自動車	1	1	100.0	30m級
	化学消防車	1	1	100.0	
	指 揮 車	2	1	50.0	
	特 殊 車 等	7	7	100.0	
	救急自動車	9	9	100.0	
	救助工作車	2	2	100.0	
	消防ポンプ自動車（非常用）	1	1	100.0	
	救急自動車（非常用）	1	1	100.0	

	区分	現有施設に 対する基準	現有職員数	充 足 率 (%)	備 考
消防本部・ 署人員	指 揮 隊 員	18	6	33.3	
	消 防 隊 員	129	85	65.9	
	救 急 隊 員	18	17	94.4	
	救 助 隊 員	30	16	53.3	
	通 信 員	15	7	46.7	
	庶務の処理等の人員	20	20	100.0	
	予防要員（専従員）	21	6	28.6	
	計	251	157	62.5	

◇ 消防力現勢配置図



◇ 協定書に基づく応援等について

協定名称	協定団体	締結年月日
海上における船舶火災の消防活動に関する業務協定書	熊本海上保安部	平成30年 3 月 1 日
万坂トンネルにおける事故発生時の通報及び出動に関する協定書	矢部土木事務所 矢部（現山都）警察署 松橋（現宇城）警察署 上益城消防組合消防本部	昭和52年 7 月 1 日
熊本県防災消防ヘリコプター応援協定	熊本県下全市町村 熊本県下全消防本部	平成13年 3 月28日
熊本県消防相互応援協定	熊本県下全市町村 熊本県下全消防本部	平成27年 4 月 1 日
九州自動車道における消防相互応援協定	九州自動車道沿線市町村 九州自動車道沿線消防本部	平成27年 4 月 1 日

◇ 階級別特殊技能取得状況

(令和6年4月1日現在)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
普通1種自動車運転免許(準中型含む)	1	5	26	25	58	25	17	157
中型1種自動車運転免許			5	8	34	21	3	71
大型1種自動車運転免許	1	4	21	21	42	12	2	103
大型2種自動車運転免許		1	1					2
大型特殊自動車運転免許			3	6	21	3		33
救急救命士	1	1	13	7	17	4	2	45
応急手当指導員	1	5	26	25	58	25	8	148
JPTEC PROVIDER	1	1	5	4	14			25
JPTEC インストラクター			3	1	2			6
ACLS インストラクター								0
ICLS インストラクター	1	1	4		2			8
潜水士	1	4	12	13	34	8		72
水上安全法救助員				1				1
着衣泳指導員		1	6	4	8			19
防火査察(予防技術資格者)		1	4	9	17	3		34
消防用設備等(予防技術資格者)		1	1	7	4	1		14
危険物(予防技術資格者)		2	3	4	5			14
消防設備士(甲)				1				1
消防設備士(乙)	1	2	17	11	5			36
防火対象物点検資格者		1						1
危険物取扱者(甲)	1			1				2
危険物取扱者(乙)	1	5	23	24	31	14	5	103
陸上特殊無線技士	1	5	26	25	57	26	13	153
アマチュア無線技士		1						1
小型船舶操縦士		3	13	12	26	1		55
第1種衛生管理者				2	1			3
毒物劇物取扱者						1		1
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		2	19	20	18			59
特定化学物質等作業主任者	1		2	1	1			5
小型移動式クレーン		3	8	11	27	2		51
玉掛技能者		2	10	9	16	2		39
高所作業車運転技能者			1	1				2
車両系建設機械運転技能者		1		1	1			3
可搬ポンプ整備資格者								0
電気工事士				1				1
小型ボイラー		1		1				2
ガス溶接技術者				1	2			3
自治体法務検定		1						1
防災士		1	1		3			5

◇ 消防資器材の現有状況

消火用資器材

(令和6年4月1日現在)

器材名		配置署	北 消防署	美里 分署	網田 分署	南 消防署	三角 分署	豊野 分署	小川 分署	計
放水用具	ホース	65mm	103	57	62	91	56	60	68	497
		50mm	104	43	59	79	63	63	61	472
	管 槍	65mm	8	5	2	4	2	2	2	25
		50mm	8	5		3	1	1	1	19
	小型動力ポンプ					1			1	2
	ポータブル CAFS (武蔵)									1(予防課)
	無反動ノズル		4	3	2	4		2		15
	フォグガン		2	1	1	1			1	6
	ラインプロポショナー				1	3				4
	高発泡器具		1							1
	消火薬剤	蛋白 (20L)								0
		界面 (20L)	11	5	4	6	3	3	2	34
	油中和剤	普通 (20L)	9			8				17
		バイオ (20L)								0
	オイルキャッチャー		287	227	250	302	262	276	316	1,920
	ジェットシューター		5	3	3	6	3	2	3	25
	媒介金具	メスオス50/40	2			1	1	3	1	8
		メスオス65/50	2	3	2	3	1	1	1	13
		メスオス50/65	2	2	1	1	1			7
		メスオス40/50	1	1						2
	逆延長金具 65mm(マルチ含)	オスオス	4	1	1	4	2	2	3	17
		メスメス	4	1	1	4	2	2	1	15
	逆延長金具 50mm(マルチ含)	オスオス	2	1	1	1	1	1	1	8
		メスメス	1	1	1	1		1	1	6
	分水器	65-65×2		1		1				2
		65-50×2				1				1
		マルチ	6	2	2	4	2	2	2	20
	スタンドパイプ		6	2	2	4	2	2	2	20
	ホースブリッジ		6	4	2	6	2	4	4	28
消火活動用具	鳶 口		8	2	3	4	2	2	2	23
	梯 子	単・折りたたみ	2			2				4
		二 連	1	1	1	1	1	1	1	7
		三 連	2			2				4
	投光器		4	1	1	3	1	1	1	12
	発電機	灯光器用	4	1	1	4	2	1	1	14
		庁舎用	1	1	1	1	1	1	2	8
	温度測定器		2	1	1	2	1	1	1	9
	耐熱防火衣		1			5				6
	番線カッター		2	1	2	1	1	1	1	9
	夜光ベスト		11	1	6		6		6	30

救助用資器材

(令和6年4月1日現在)

器材名		配置署	北 消防署	美里 分署	網田 分署	南 消防署	三角 分署	豊野 分署	小川 分署	計
呼吸 器具 保護	空気呼吸器（陽圧型）		16	3	3	15	4	3	3	47
	簡易酸素呼吸器		5			1				6
	空気ボンベ		39	18	12	43	25	12	15	164
切断 用具	油圧カッター（エンジン式）		1							1
	油圧カッター（電動式）					1				1
	コンビツール一式			1						1
	万能切断機（酸素）		1			1				2
	携帯カッター・拡張器（電動式）				1					1
	エアーソー		1	1		1	1			4
	レシプロソー		1			1				2
	エンジンカッター		1	1	1	1	1	1	1	7
	チェーンソー		1	1	1	3	2	1	1	10
重量 物 排除 器具	ポートパワー				1			1		2
	チルホール		2	1		2		1	1	7
	油圧スプレッダー		1	1		1				3
	エアーマット		1	1	1	1	1	1	1	7
	ブランジャーラム		3			1				4
	ハンマードリル		1							1
破壊 器具	削岩機		1			2				3
	ストライカー（ハンディブレーカー）		1			1				2
	万能斧		4	2	2	5	3	3	2	21
ガス 等 対策 器具	防毒服（陽圧式）		3			3				6
	防毒衣		5	3		11	3			22
	帯電衣		2			5				7
	放射能防護服		1			5				6
	検知器	有毒ガス	1			1				2
		可燃性ガス	1							1
		マルチガス	4	1	2	5	2	1	1	16
		放射線	17			5				22
水難 救助 器具	スクーバダイ ビングセット	ウエット				21				21
		ドライ								0
	スクーバダイビング用ボンベ					25				25
	浮環		3	2	1	7	2	1	1	17
	救助ボート		1	1	1	1	1	1	1	7
	船外機		1	1	1	1	1	1	1	7
	ゼニライトブイ					1				1
	すばり		12	3	1		8		2	26
	ライフジャケット		35	12	6	35	11	11	11	121
その他 救助 器具	フローティング担架					1				1
	山岳救助資器材一式		1			1	1			3
	エアーバッグカバー		1	1	1	2	1			6
	緩降器		2			1				3
	画像探索機					1				1
	ウィンドーポンチ		5		1	4	1	1	2	14
	エアーテント一式		1			1				2
	舟形担架		1			1				2
	折りたたみ担架		1							1
	スケッドストレッチャー		1			1				2
	マンホール救助器具		1			2				3
	排煙機		1			1				2
	救助マット		1			1				2
	縛帯		2	2	1	4		1	1	11
	ペダルカッター		1	1						2

救急用資器材

(令和6年4月1日現在)

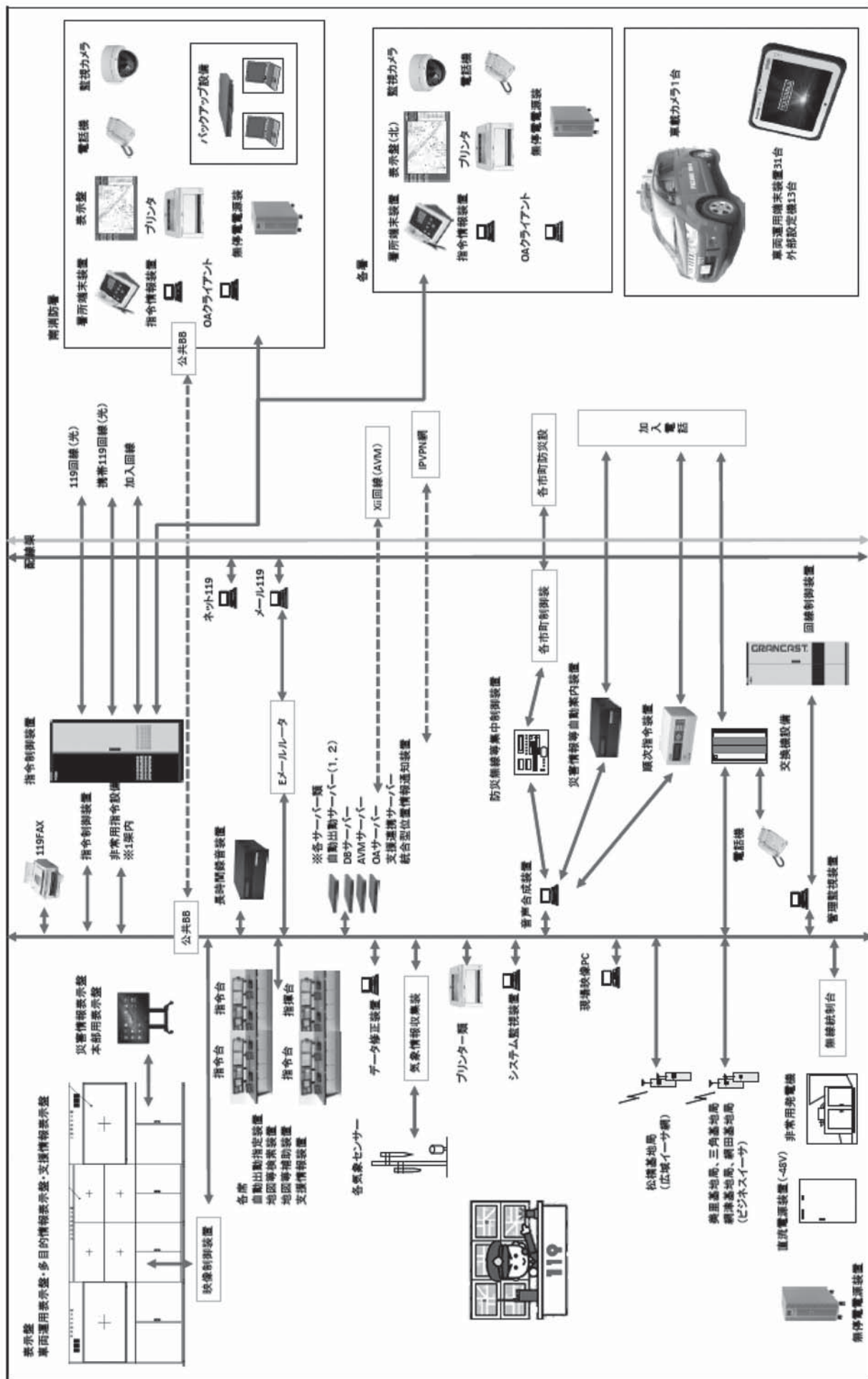
器材名		配置署	北 消防署	美里 分署	網田 分署	南 消防署	三角 分署	豊野 分署	小川 分署	計
救急用資器材	血圧計		3	2	1	2	2	2	1	13
	電動式吸引器		4	2	2	3	2	2	2	17
	喉頭鏡セット		5	3	2	8	3	3	4	28
	酸素吸入器（インハレーター）		2	1	1	2	1	1	1	9
	自動式人工呼吸器		2	1	1	3	1	2	1	11
	人工蘇生器（バグマスク）		7	3	3	10	2	3	6	34
	バキュームスプリント		2	1	1	1	1	1	1	8
	スロートイーバッグ						1	1	1	3
	救急用携帯電話		2	1	1	2	1	1	1	9
	スクープストレッチャー		4	3	2	4	2	2	1	18
	バックボード		5	2	2	5	2	2	2	20
	ショートボード		2							2
	ビデオ喉頭鏡		1	1	1	3	1	1	1	9
	ケッド		1			2	1	1	1	6
高度救急用資器材	気道確保用資器材一式		2	1	1	2	1	1	1	9
	輸液用資器材一式		2	1	1	2	1	1	1	9
	自動体外式除細動器		3	2	1	2	1	2	1	12
	患者監視モニター			1		2	1	1	1	6
	血中酸素飽和度測定器		1	2	1	2	1	1	1	9
	カプノチェック		2							2
	心電計								1	1
	自動心肺蘇生器		1	1	1	2	1	1	1	8
消毒用資器材	銀イオンドライフォッグ					1	1	1	1	4
	紫外線滅菌ロッカー									0
救急訓練資器材	高度救命処置シミュレーター		1			2				3
	レコーディングレサシアン		1	2	1	4				8
	アンプマン			1			2			3
	ジュニア		8	1	1	12		1	1	24
	ベビー		4	1	1	3	1	1	1	12
	JAMY		2	1		1	1			5
	レサシアン半身		1			3				4
	リトルアンQ C P R		8	4	4	4	4	4	5	33
	気道管理トレーナー		1	1	1	1	1		1	6
	静脈トレーナー		1	1	1	1	1		2	7
	AED トレーナー		11	2	1	10	1	1	2	28

水防用資器材

(令和6年4月1日現在)

器材名			配置署	北 消防署	美里 分署	網田 分署	南 消防署	三角 分署	豊野 分署	小川 分署	計
水防資器材	スコップ	剣		19	8	6	17	7	4	3	64
		角		4	2	1	2			3	12
	ツルハシ			4	2	3	3	2		1	15
	ハンマー			1			3			1	5
	カケヤ			3	2	2	4	2	1		14
	斧			4		1	2				7
	ナ タ			2	5	3	15	2	3	3	33
	鍬			2		2	1		1		6
	唐 鍬					2					2
	三 又					2			2		4
	土のう袋			800	200	270	100	200	200	100	1,870

消防通信系統図



◇ 119 受信状況

月別受信状況

(令和5年中) (件)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	5	2	6	5	3	1		3		5	1	3	34
救 急	667	529	578	561	566	566	677	699	596	601	549	625	7,214
救 助	11	3	8	8	7	2	6	5	2	13	4	4	73
警 戒	98	79	77	77	85	66	85	78	71	99	77	86	978
同 報	24	17	25	19	25	11	17	30	30	17	28	34	277
まちがい	44	47	62	59	53	68	60	58	41	43	28	34	597
いたずら		4	2	3	1		2	1		4	2		19
問 い 合 せ	53	23	25	28	36	29	43	39	12	34	27	39	388
通 報 訓 練	10	29	45	35	38	36	15	11	32	50	108	51	460
回 線 試 験	20	13	12	15	53	20	11	20	10	14	31	18	237
そ の 他	27	33	50	31	76	45	38	38	32	35	37	27	469
携 帯 転 送	27	24	19	16	25	18	23	28	17	19	24	24	264
総 計	986	803	909	857	968	862	977	1,010	843	934	916	945	11,010

覚知種別受信状況

(令和5年中) (件)

種別	火災	救急	救助	警戒	同報	まちがい	いたずら	問 い 合 せ	通 報 訓 練	回 線 試 験	その他	携 帯 転 送	総計
1 1 9	1	1,305	4	103	38	93	3	55	234	202	113	1	2,152
携帯119	22	3,148	23	349	183	444	15	247	35	8	183	257	4,914
IP119	4	2,151		142	33	23		47	182	9	28	6	2,625
加入電話 (加入電話から)	1	50	9	47									107
加入電話 (携帯電話から)		11		5									16
駆け付け通報		96	1	2	2	5		22		4	46		178
事後聞知	5												5
自己覚知		7		9									16
そ の 他	1	446	36	321	21	32	1	17	9	14	99		997
総 計	34	7,214	73	978	277	597	19	388	460	237	469	264	11,010

備考：平成17年12月2日から携帯電話での「119通報」を直接受信開始

◇ 気象状況

宇城広域連合消防本部：標高5.25m (令和5年中)

月	平均 風速 m/s	平均 風向	最大瞬間 風速 m/s	最大 瞬間時 風向	月平均 気温 ℃	月最高 気温 ℃	月最低 気温 ℃	月平均 相対湿度 %	月最高 相対湿度 %	月最低 相対湿度 %	実効 湿度 %	現地 気圧 hpa	海面 気圧 hpa	10分最大 雨量 mm	時間最大 雨量 mm	日最大 雨量 mm	月積算 雨量 mm
1月	1.9	北	21.5	北西	5.9	19.4	-6.0	70.0	98.3	24.1	70.2	1021.5	1022.5	3.0	8.0	29.5	74.5
2月	2.2	北	14.6	北北西	8.0	19.7	-2.2	70.4	97.7	17.2	70.2	1021.8	1022.8	2.0	7.5	28.0	80.0
3月	2.0	北北西	18.2	南西	12.8	23.6	-0.6	69.6	98.3	15.8	69.4	1018.6	1019.6	5.0	12.5	26.5	110.0
4月	2.3	北北西	18.7	西南西	16.5	27.2	3.8	66.6	98.3	13.3	65.7	1013.9	1014.8	5.0	17.5	57.5	186.0
5月	2.2	南西	16.8	北北東	20.2	31.6	9.2	71.3	98.6	5.0	70.6	1012.4	1013.3	6.5	19.5	73.5	229.0
6月	2.3	南西	17.8	南西	23.8	32.3	15.5	80.6	98.6	25.2	79.9	1007.7	1008.6	8.0	24.0	110.5	290.5
7月	3.1	南西	19.6	北北東	28.0	35.8	16.6	81.9	99.1	43.8	82.6	1009.5	1010.4	21.5	80.5	118.5	284.5
8月	2.1	東南東	26.5	西南西	28.9	36.9	16.4	76.7	98.8	41.3	76.2	1003.9	1004.8	17.0	53.5	54.0	119.5
9月	1.9	南西	13.2	東南東	26.8	35.8	15.1	76.4	99.1	34.9	76.6	1010.5	1011.4	10.5	37.0	37.5	47.5
10月	1.8	西北西	12.9	北	18.6	28.5	7.5	68.6	98.0	15.5	68.9	1016.2	1017.1	5.0	9.5	36.5	43.0
11月	1.8	北北西	16.1	西北西	13.8	27.2	1.9	71.2	98.8	12.5	70.9	1019.8	1020.8	4.0	7.0	17.5	49.0
12月	1.8	北	16.7	西北西	8.7	22.5	-2.4	74.6	99.9	33.3	73.8	1022.4	1023.4	1.0	4.5	16.5	38.5

火 災

- ◇ 概 況
- ◇ 10か年の火災発生件数
- ◇ 市町別10か年の火災発生件数
- ◇ 月別火災発生件数
- ◇ 月別・市町別火災発生件数
- ◇ 時間・種別毎火災発生件数
- ◇ 市町別火災発生件数と損害額
- ◇ 年別火災状況及び損害額
- ◇ 月別火災発生状況
- ◇ 市町別火災発生状況
- ◇ 出火原因別の前年比
- ◇ 出火原因別火災発生件数



◇ 概 況

宇城広域連合消防本部管内における令和5年中の火災発生件数は34件で、前年より4件減少しています。構成市町別にみると、宇城市が20件と最も多く、次いで宇土市の7件、美里町の7件となっています。

1. 出火件数（種別毎）

火災種別ごとにみると、建物火災が12件（前年比2件増）と総件数の35%を占め、その他火災15件（前年比10件減）、車両火災3件（前年比3件増）、林野火災が4件（前年比2件増）、船舶火災が0件（前年比1件減）となっています。

2. 焼損内訳

建物焼損床面積は、640㎡で前年に比べ702㎡減少しています。焼損棟数は19棟（全焼5棟、半焼1棟、部分焼6棟、ぼや7棟）で、罹災世帯は9世帯で前年より7世帯減少しています。

3. 損害額

損害額は、46,226千円で、前年より62,321千円の減少となっています。火災種別毎にみると、建物火災42,713千円（前年比62,836千円減）、車両火災372千円（前年比372千円増）、林野火災184千円（前年比184千円増）、その他火災2,957千円（前年比1,573千円増）で、全体の損害額は減少しています。

4. 出火原因

出火原因で最も多かったのは「たき火」13件（38%）、次いで「配線器具」が5件（15%）、「たばこ」、「その他」が各2件（6%）、「こんろ」、「炉」、「焼却炉」、「電灯・電話等の配線」、「火あそび」、「切断機・溶接機」が各1件（3%）、原因の特定に至らない「不明・調査中」が6件（17%）となっております。

5. 死傷者

火災による死者は0名、負傷者は5名でした。死者数は前年と同じく0名で、負傷者は5名減少しました。

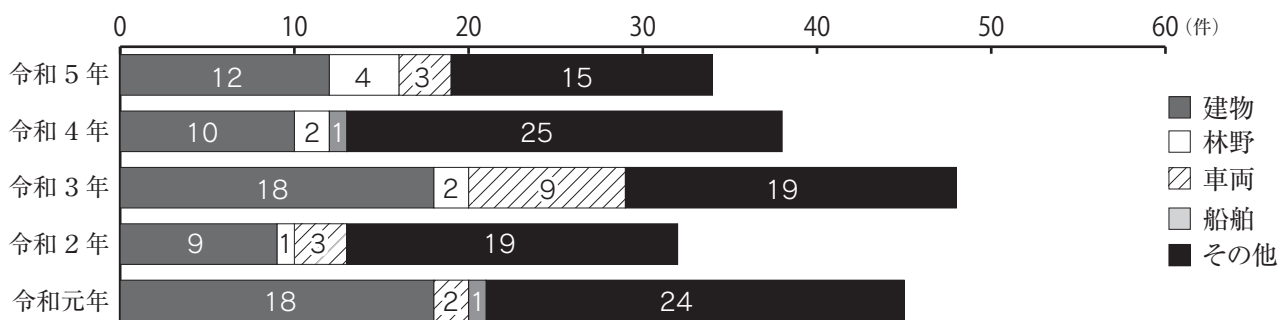
6. 傾向

火災の発生状況を月別にみると、3月が6件（18%）で最も多く、次いで1月、4月、10月の5件（15%）5月、8月、12月の3件（9%）2月の2件（6%）6月、11月の1件（2%）となっています。一番少ない月は7月、9月の0件（0%）でした。

時間帯別にみても、14時～16時が7件（20%）で最も多くなっています。

過去5か年の種別ごと火災件数

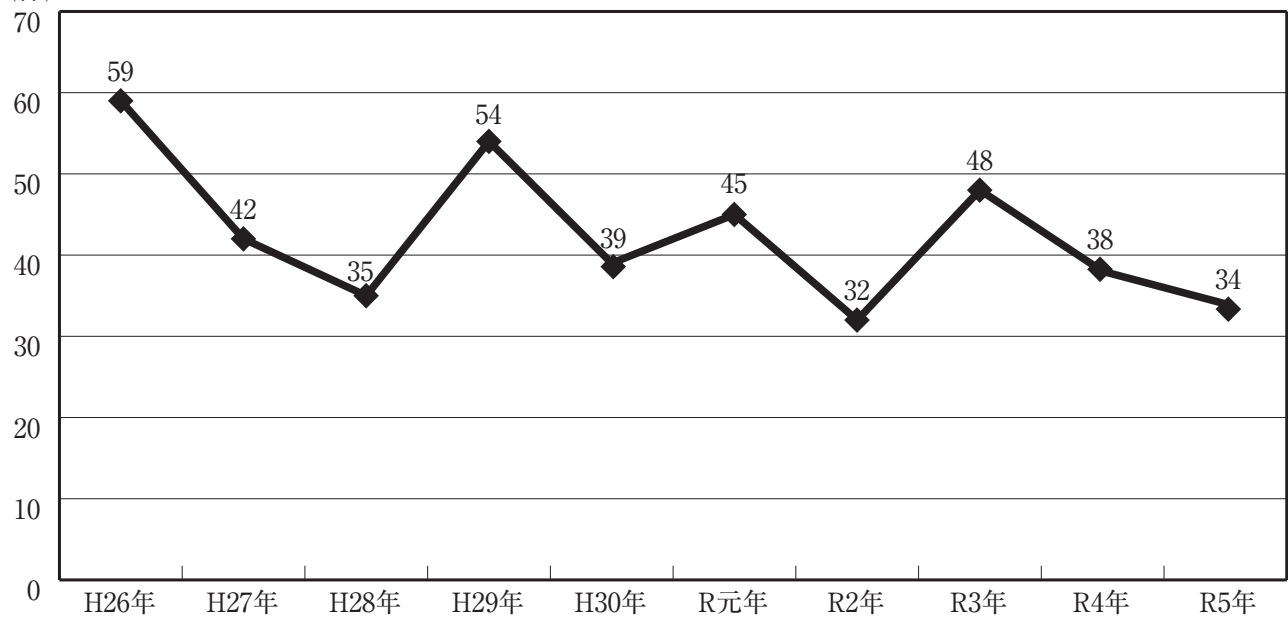
種別	建物	林野	車両	船舶	その他	計
令和5年	12	4	3		15	34
令和4年	10	2		1	25	38
令和3年	18	2	9		19	48
令和2年	9	1	3		19	32
令和元年	18		2	1	24	45



◇ 10か年の火災発生件数

(件)

※管外で発生した火災を除く



◇ 市町別10か年の火災発生件数

※管外で発生した火災を除く

市町別	区分	過去10か年の火災発生件数									
		H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
合	計	59	42	35	54	39	45	32	48	38	34
宇	土	23	13	10	22	13	11	11	13	10	7
宇	城	26	22	22	26	20	28	17	23	20	20
美	里	4	7	3	6	6	6	4	12	8	7
熊本市南区城南町	1	宇城広域連合離脱									
熊本市南区富合町	5										

火災の定義

「火災」とは、人の意図に反して発生し、若しくは拡大し、又は放火により発生して、消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

火災種別の説明

建物火災とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいいます。

林野火災とは、森林・原野又は牧野が焼損した火災をいいます。

車両火災とは、自動車車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいいます。

船舶火災とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいいます。

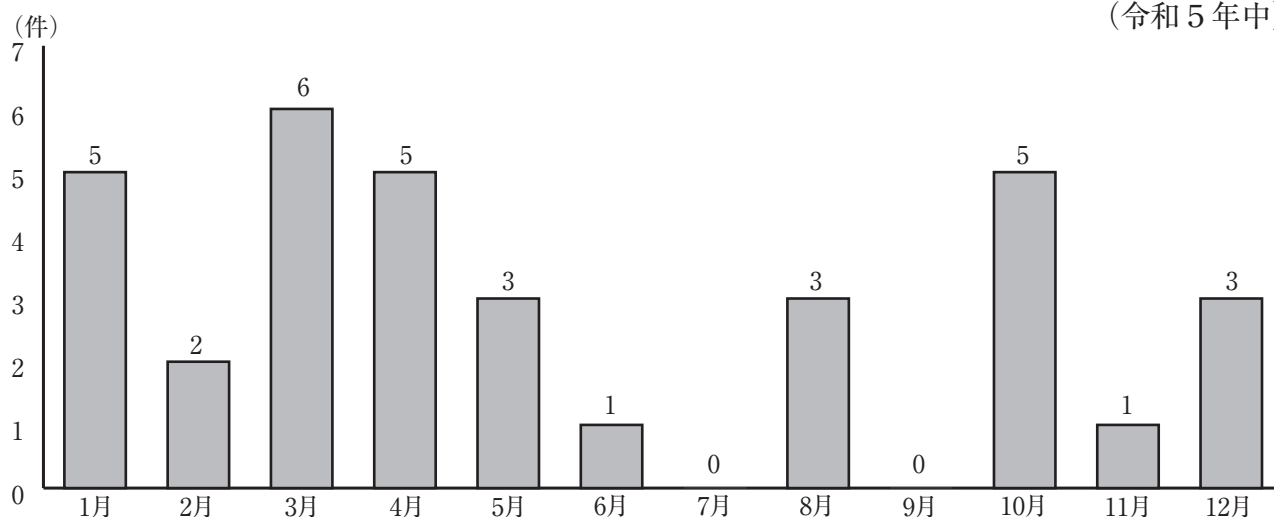
航空機火災とは、航空機またはその積載物が焼損した火災をいいます。

その他火災とは、上記に掲げる火災以外の火災をいいます。

(例えば、空地・田畑・道路・河川敷・ごみ集積場・電柱類等の火災など)

◇ 月別火災発生件数

(令和5年中)



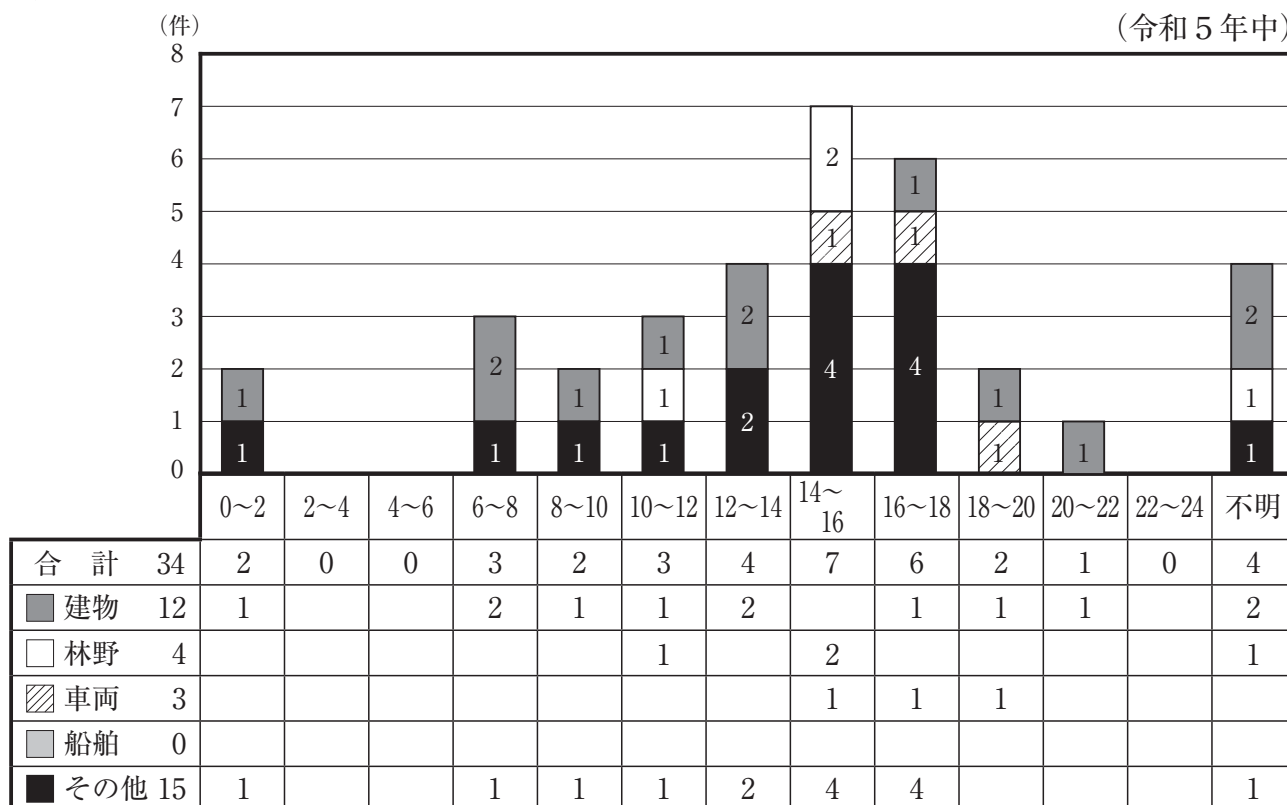
◇ 月別・市町別火災発生件数

(令和5年中)

市町別	月別														
	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
合	計	34	5	2	6	5	3	1	0	3	0	5	1	3	
宇	土	市	7	2		2						1	1	1	
宇	城	市	20	3	1	2	4	2	1		2		3		2
美	里	町	7		1	2	1	1			1		1		

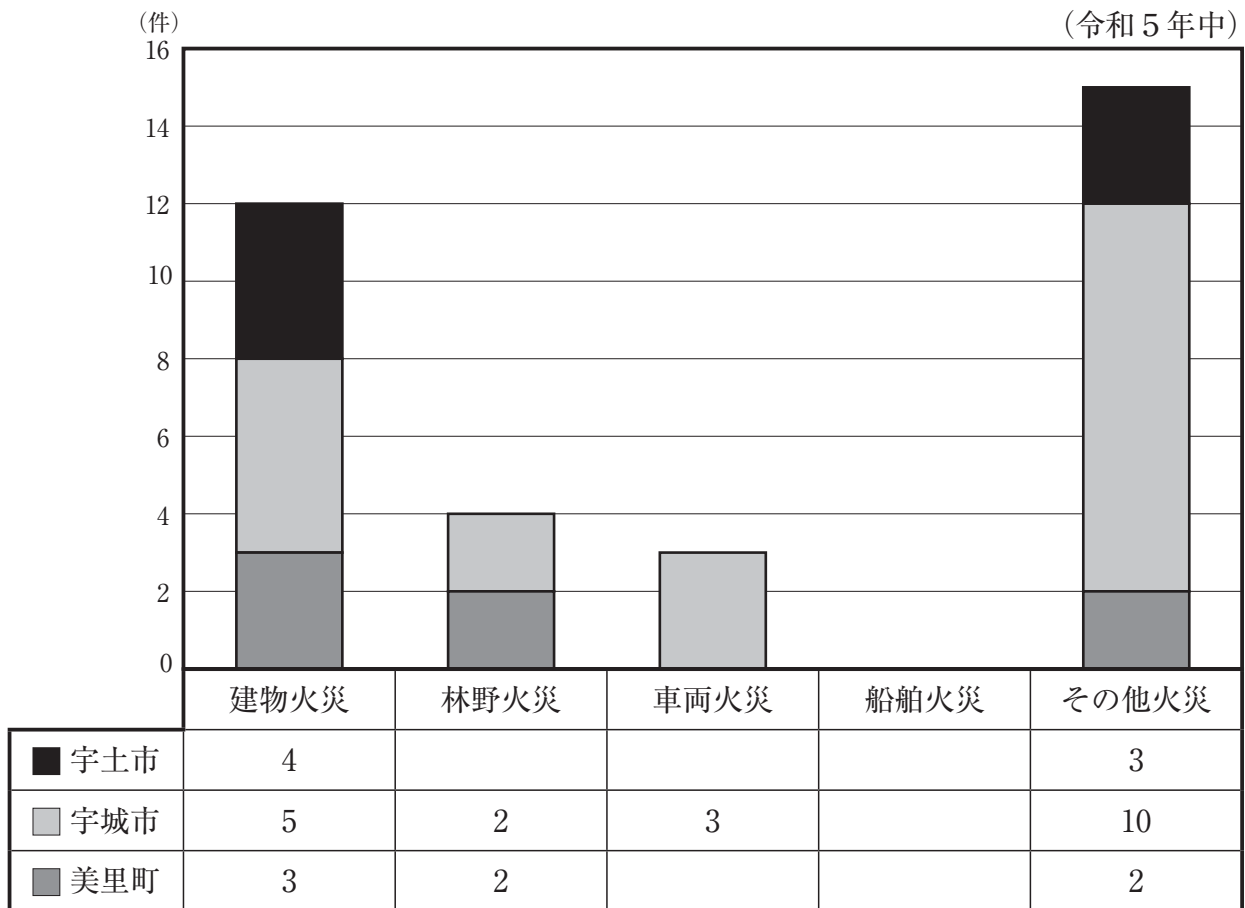
◇ 時間・種別毎火災発生件数

(令和5年中)

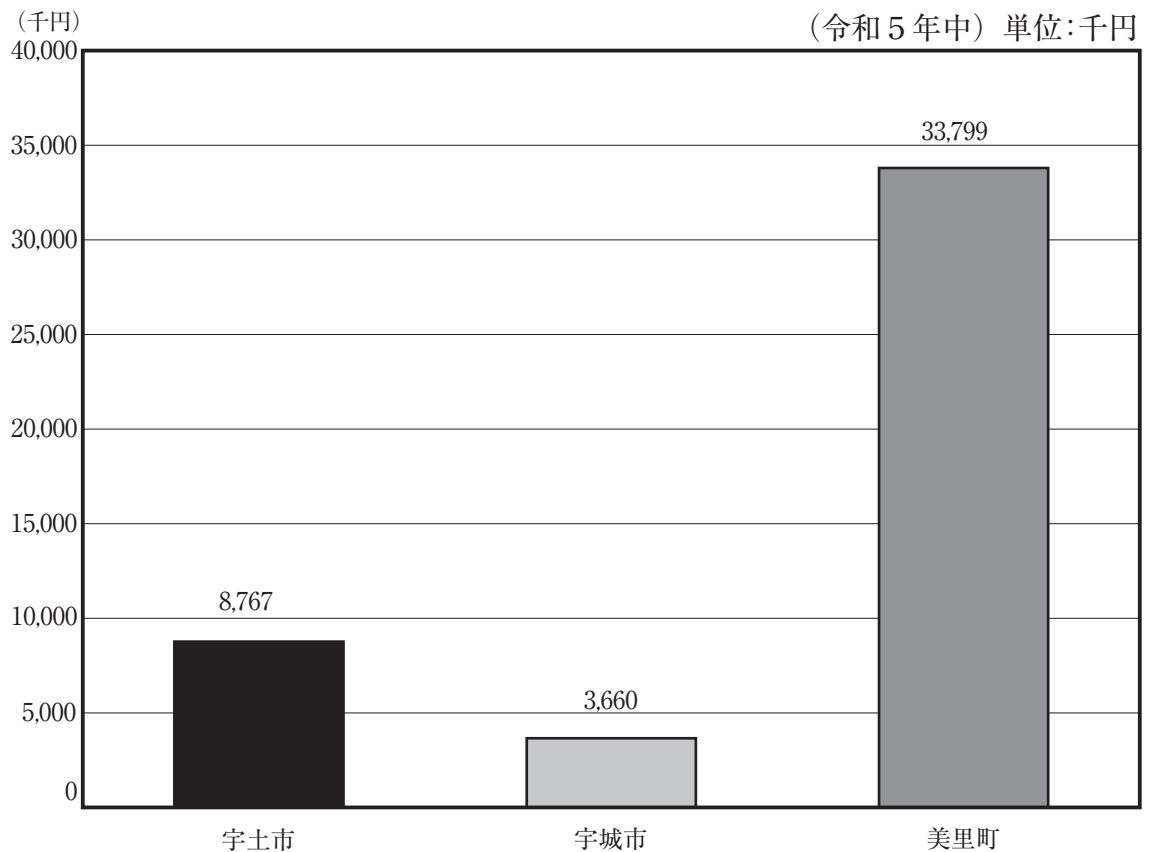


◇ 市町別火災発生件数と損害額

■市町別火災発生件数



■市町別損害額



◇ 年別火災状況及び損害額

年別 種別		H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年
火災発生件数	建物	33	20	16	24	9	18	9	18	10	12
	林野		3		2			1	2	2	4
	車両等	7	3	6	4	3	3	3	9	1	3
	その他	19	16	13	24	27	24	19	19	25	15
	合計	59	42	35	54	39	45	32	48	38	34
罹災世帯	全損	8	6	6	13	2	4	2	5	8	2
	半損	3	3	1	1						1
	小損	21	15	3	9	4	6	7	7	8	6
	合計	32	24	10	23	6	10	9	12	16	9
罹災人員		78	64	23	64	16	18	19	32	49	21
焼損棟数	全焼	23	4	10	17	3	10	8	10	16	6
	半焼	2	3	2	1		1		1		2
	部分焼	25	7	3	10	4	10	8	2	9	10
	ぼや	16	13	8	3	7	6	3	11	8	7
	合計	66	27	23	31	14	27	19	24	33	25
焼損面積	建物 (㎡)	4,253	1,039	1,302	3,132	465	603	781	1,240	1,342	728
	林野 (a)		33					66	50	3	27
損害額 (千円)	建物	300,580	40,346	72,027	146,533	22,718	34,030	14,982	28,506	105,549	42,713
	林野	22	35	94	34				288		184
	車両等	1,885	1,967	3,136	1,062	1,555	261	2,438	1,329	1,614	372
	その他	52,385	853	911	1,278	515	1,220	383	676	1,384	2,957
	合計	354,872	43,201	76,168	148,907	24,788	35,511	17,803	30,799	108,547	46,226
死傷者	死者		1	1	4	1			2		
	傷者	13	6	3	5	4	9	2	5	10	5

◇ 月別火災発生状況

(令和5年中)

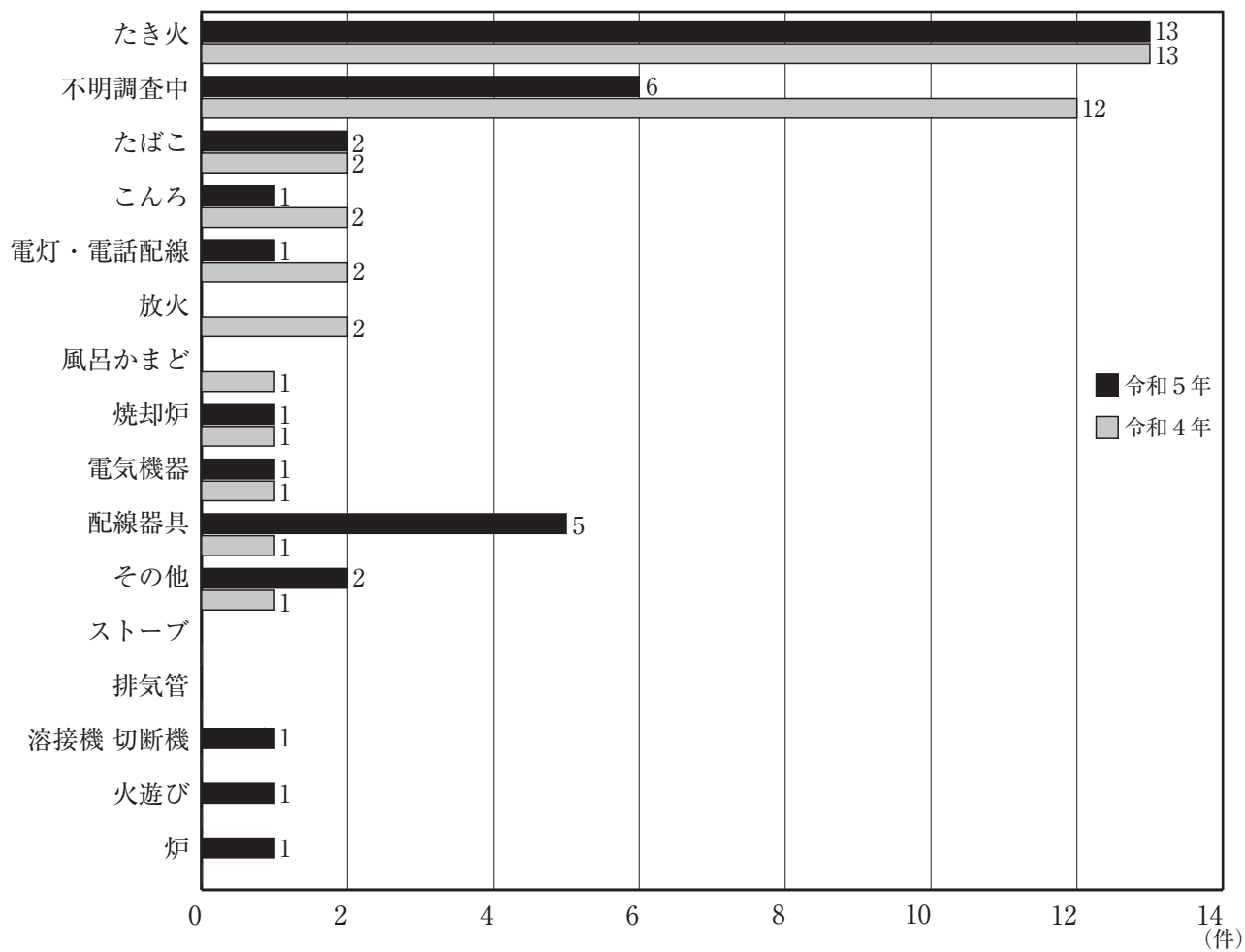
種別 月別	件数				焼損面積・数等				損害額（千円）				焼損棟数								罹災世帯			罹災者数	死者	負傷者									
	計	内訳				建物（㎡）	表面積（㎡）	林野（a）	車両（台）	計	建物	林野	車両	船舶	その他	火元				類焼						全損	半損	小損							
		建物	林野	車両	船舶											その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼						ぼや						
1月	5	3			2	89				8,737							3	1	1	1				1	3					3			消防吏員	消防団員	その他
2月	2	1			1					114	91				23		1			1															
3月	6	1	2		3		16			317	132	184			1		2		1	1					1	3								1	
4月	5	1	2		2		11			20					20		1			1															
5月	3	1		1	1				1	41	26		15				1			1					1	2									
6月	1			1					1	30			30				0																		
7月	0									0							0																		
8月	3	1			2	421	18		2	33,682	30,568	210			2,904		9	2	3			1	3	2	11								1		
9月	0									0							0																		
10月	5	2			3	95				2,895	2,895						6	2	1	1	1		1		1	1									
11月	1	1								0							1			1					1	1									
12月	3	1		1	1	35	70		1	390	264		117		9		1	1																	
計	34	12	4	3	0	15	88	5	46,226	42,713	184	372	0	2,957			25	5	1	6	7	1	1	4	0	2	1	6	21	0	0	1	1	4	

◇ 市町別火災発生状況

(令和5年中)

種別 市町別	件数				焼損面積・数等				損害額（千円）					焼損棟数								罹災世帯			罹災者数	死者	負傷者					
	計	内訳				建物（㎡）	表面積（㎡）	林野（a）	車両（台）	計	建物	林野	車両	船舶	その他	火元				類焼				全損			半損	小損	消防吏員	消防団員	その他	
		建物	林野	車両	船舶											その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼									ぼや
宇土市	7	4			3	36		8,767	8,767	4	1	3												1	2	7						2
宇城市	20	5	2	3	10	183	2	3,660	3,261	184	162		53	10	3	2	1								1	1						2
美里町	7	3	2		2	421	18	25	2	33,799	30,685	210	2,904	11	2	3	2	1							3	13						1
高速道	0							0						0																		
管 外	0							0						0																		
計	34	12	4	3	0	640	88	27	5	46,226	42,713	184	372	25	5	1	6	7	2	0	4	0			2	1	6	21	0	0	1	4

◇ 出火原因別の前年比



◇ 出火原因別火災発生件数

(令和5年中)

番号	原因	件数
1	たき火	13
2	不明・調査中	6
3	配線器具	5
4	その他	2
4	たばこ	2
6	電灯・電話等の配線	1
6	炉	1
6	焼却炉	1
6	コンロ	1
6	火あそび	1
6	切断機・溶接機	1
計		34

救 急 ・ 救 助

- ◇ 救急概況
- ◇ 10か年の救急出場件数
- ◇ 市町別救急出場件数
- ◇ 市町別救急搬送人員
- ◇ 署別救急出場件数
- ◇ 救急出動応援（PA 連携）
- ◇ 10か年署別救急出場件数推移
- ◇ 時間別救急出場件数
- ◇ 月・曜日別種別毎搬送人員
- ◇ 事故種別医療機関別搬送人員
- ◇ 事故種別年齢区分別傷病程度搬送人員
- ◇ 現場到着所要時間別出場件数
- ◇ 収容所要時間別搬送人員
- ◇ 救急隊員の行った応急処置件数
- ◇ 救助概況
- ◇ 10か年の救助出場件数
- ◇ 事故種別救助出場及び活動状況
- ◇ 発生場所別救助出場及び救助人員



救急事故の種別

火 災	火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
自 然 災 害 事 故	暴風・豪雨・豪雪・洪水・高潮・地震・津波・噴火・雪崩・地すべり・その他異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
水 難 事 故	水泳中（運動競技によるものを除く）の溺者又は水中転落等による事故をいう。
交 通 事 故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
労 働 災 害 事 故	各種工場、事業所、作業所、工事現場等において就業中発生した事故をいう。
運 動 競 技 事 故	運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者。審判員及び関係者の事故（ただし観覧中の者が直接運動競技用用具等によって負傷した場合は含み、競技場の混乱による事故等は含まない）をいう。
一 般 負 傷	他に分類されない不慮の事故をいう。
加 害	故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
自 損 行 為	故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
急 病	疾病によるもので救急業務としておこなったものをいう。
そ の 他	転院搬送、医師・看護師搬送、医療資器材等の搬送、その他のものをいう。

救助事故の種別

建 物 火 災	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
建 物 以 外 の 火 災	火災報告取扱要領による、林野・車両・航空機・その他の火災で生じた事故をいう。
交 通 事 故	すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
水 難 事 故	水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
自 然 災 害 事 故	暴風・豪雨・豪雪・洪水・高潮・地震・津波・噴火・雪崩・地すべり・その他異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
機 械 に よ る 事 故	エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアーその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
建 物 等 に よ る 事 故	建物、門、柵、塀等、建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等に閉じ込められた事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	一酸化炭素中毒、その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故をいう。
破 裂 事 故	火災現場において、直接火災に起因して生じた事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。
そ の 他	前に掲げた事故以外の事故で、消防機関による救助を必要したものをいう。出動したが誤報、いたずらであった場合も計上する。

◇ 救急概況

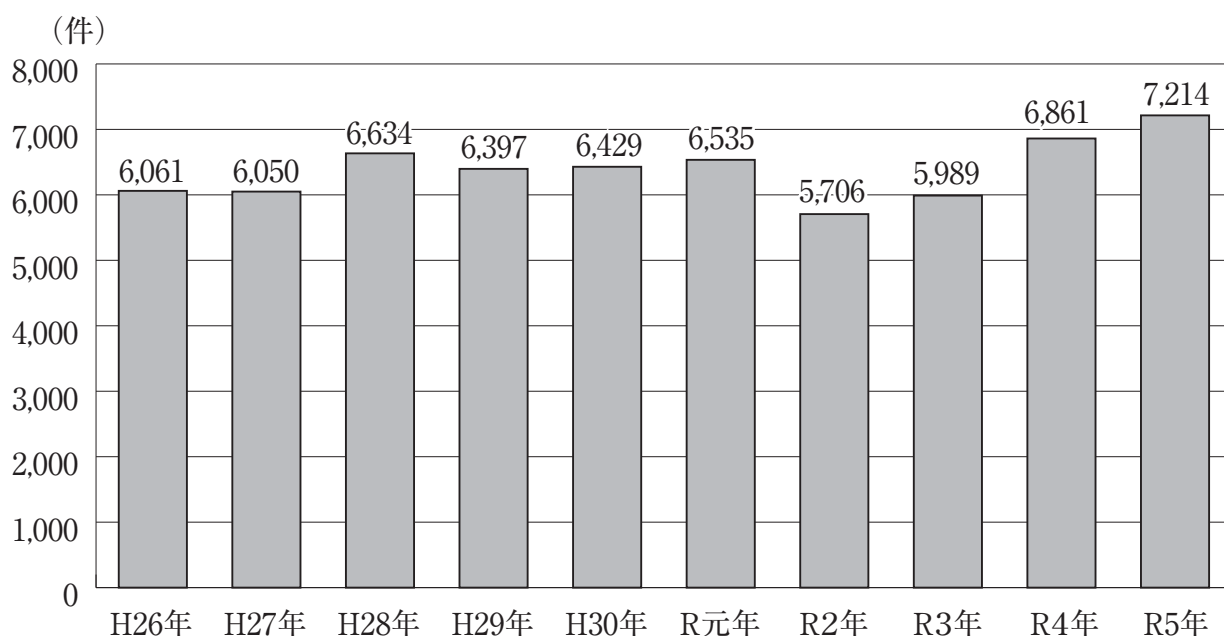
令和5年中における救急出場件数は7,214件（前年6,861件）、搬送人員は6,285人（前年5,997人）で、前年に比べ出場件数は353件（5.1％）の増加、搬送人員は288人（4.8％）の増加となっています。このことは1日平均19.8回救急車が出場し、17.2人を搬送したことになります。

○事故種別でみると、救急搬送人員数では急病3,907件（62.2％）、その他1,053件（16.8％）、一般負傷879件（14.0％）の順でした。

○搬送人員を傷病程度別でみると、中等症3,773人（60.0％）で最も多く、次いで軽症が1,716人（27.3％）、重症796人（12.6％）となっています。

○搬送人員を年齢区分別でみると、高齢者が4,464人（71.0％）で最も多く、次いで成人1,402人（22.3％）、乳幼児228人（3.6％）で高齢化による傾向がみられます。

◇ 10か年の救急出場件数



市町別	10か年の救急出場件数										合 計
	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	
計	6,061	6,050	6,634	6,397	6,429	6,535	5,706	5,989	6,861	7,214	63,876
宇土市	1,867	1,793	2,016	1,952	1,987	2,027	1,683	1,741	2,088	2,295	19,449
宇城市	3,575	3,627	3,906	3,784	3,772	3,910	3,384	3,573	4,084	4,239	37,854
美里町	593	609	672	623	653	587	604	652	681	670	6,344
その他	26	21	40	38	17	11	35	23	8	10	229

(参考)

熊本市富合町・城南町	394	宇城広域連合離脱	394
------------	-----	----------	-----

◇ 市町別救急出場件数

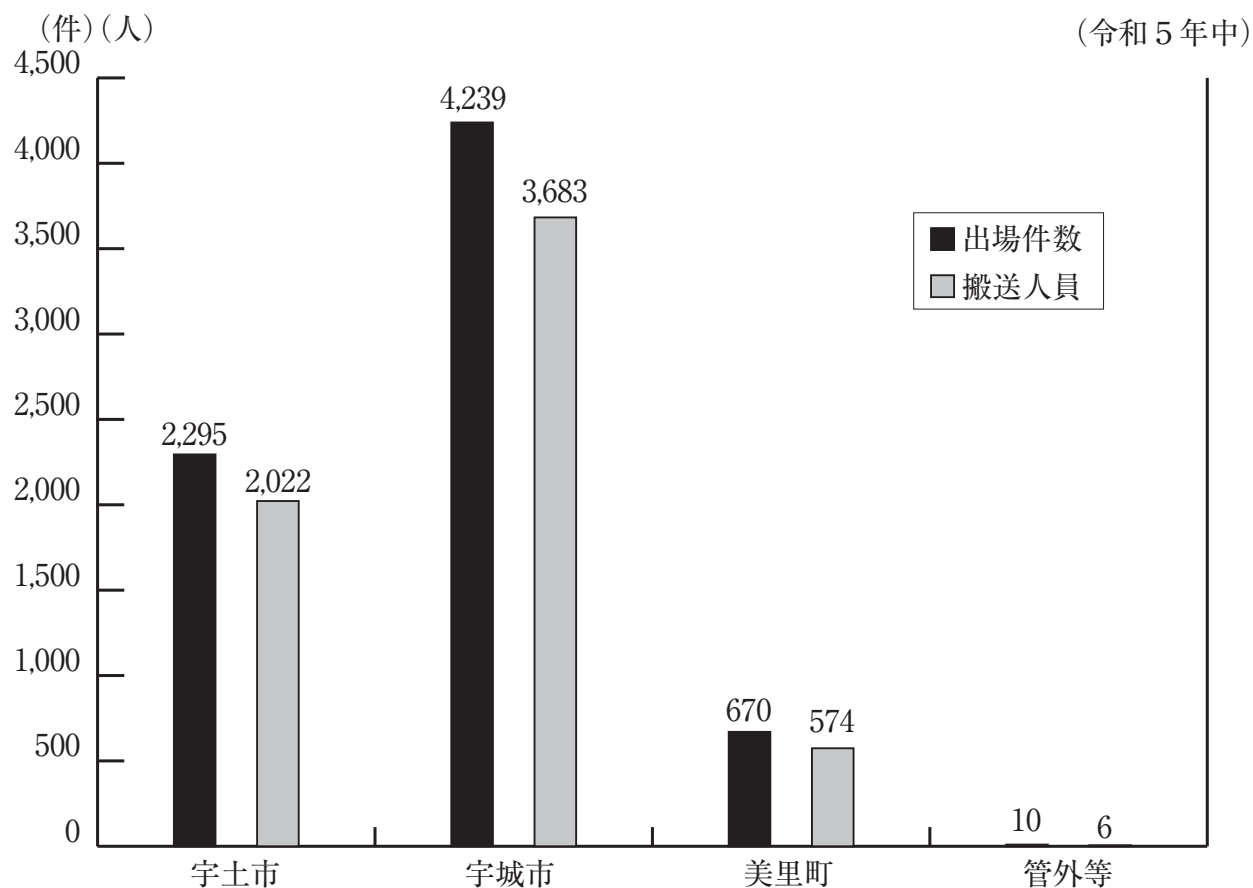
(令和5年中)

事故種別 市町別	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	合計
宇 土 市	4		1	147	26	15	308	6	12	1,535	241	2,295
宇 城 市	21		5	198	26	17	577	7	21	2,620	747	4,239
美 里 町	15		3	28	7	6	109		4	427	71	670
管 外 等	3			4						3		10
合 計	43	0	9	377	59	38	994	13	37	4,585	1,059	7,214

◇ 市町別救急搬送人員

(令和5年中)

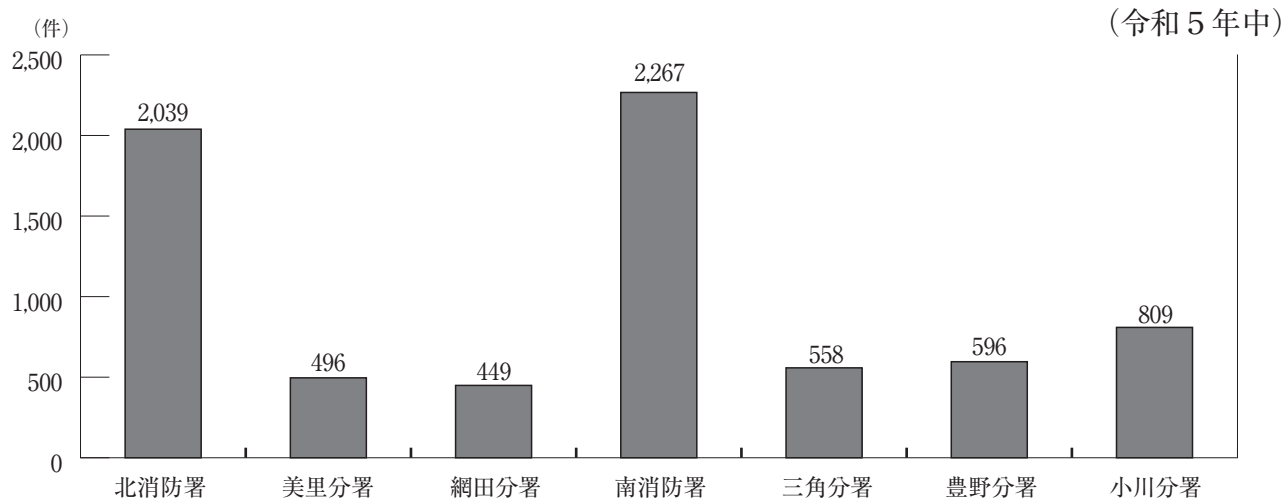
事故種別 市町別	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	合計
宇 土 市	2			116	22	12	277	3	10	1,342	238	2,022
宇 城 市	1		1	179	25	15	500	3	14	2,201	744	3,683
美 里 町	1			26	7	3	102		2	362	71	574
管 外 等				4						2		6
合 計	4	0	1	325	54	30	879	6	26	3,907	1,053	6,285



◇ 署別救急出場件数

(令和5年中)

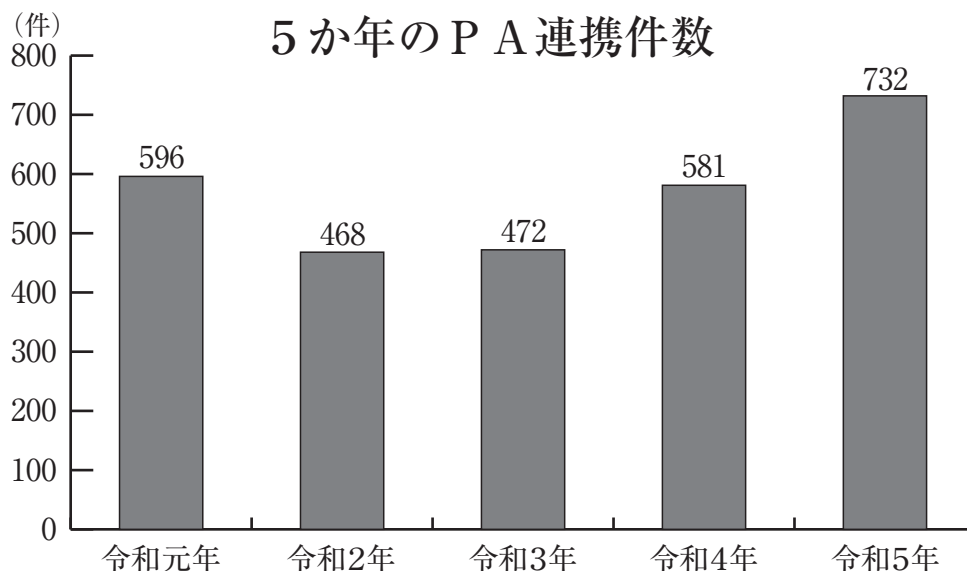
事故種別 署 別	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				合計
											転院 搬送	医師 搬送	資器材 搬送	その他	
北消防署	14		1	129	24	14	266	5	10	1,329	246			1	2,039
美里分署	9		1	15	3	4	86		2	328	48				496
網田分署			1	34	4	1	57		3	323	26				449
南消防署	11		1	105	9	13	305	6	13	1,337	466			1	2,267
三角分署	3		2	21	4	1	53		2	301	171				558
豊野分署	1		2	40	9	2	88		2	406	45			1	596
小川分署	5		1	33	6	3	139	2	5	561	54				809
合 計	43	0	9	377	59	38	994	13	37	4,585	1,056	0	0	3	7,214



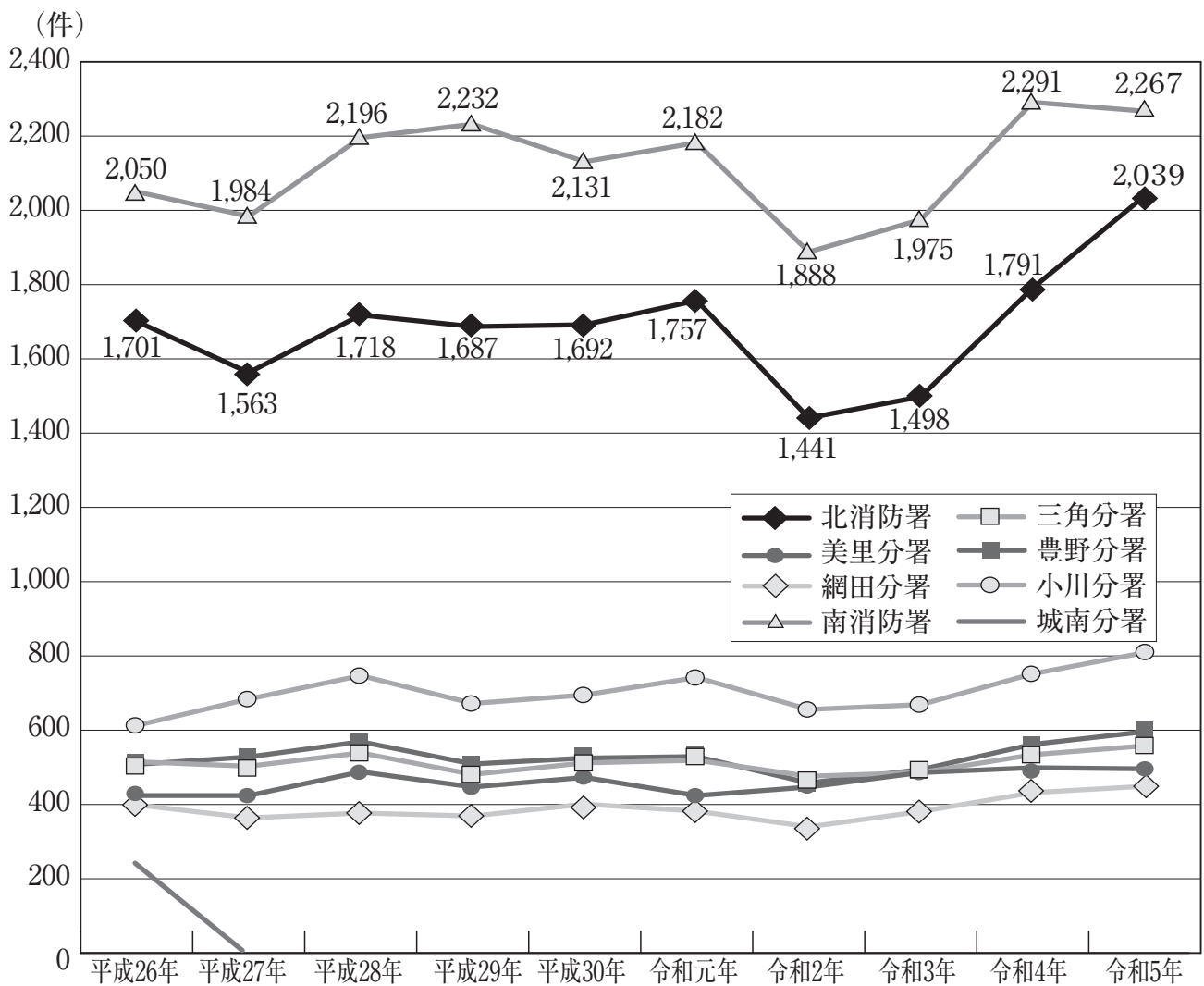
◇ 救急出動応援 (PA 連携)

「PA 連携」とは、救急出動要請に伴い、消防ポンプ車等を救急自動車に先行又は同時出動させ、救急現場等において消防ポンプ車等の消防隊等に救急活動を支援させる活動をいいます。(ヘリ支援を除く。)

年	P A 連携件数
令和元年	596
令和2年	468
令和3年	472
令和4年	581
令和5年	732



◇ 10か年署別救急出場件数推移



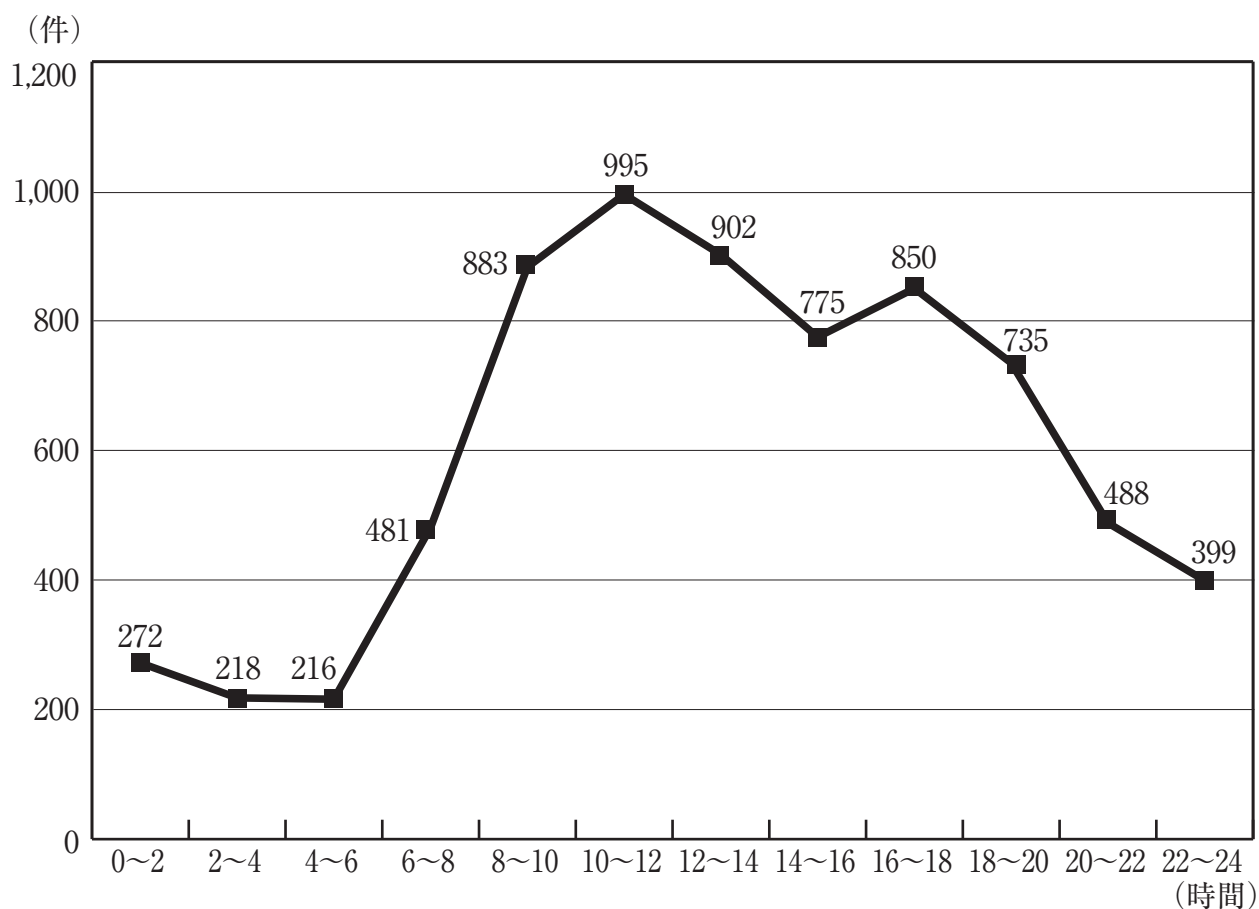
署別	年別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	合 計
北消防署		1,701	1,563	1,718	1,687	1,692	1,757	1,441	1,498	1,791	2,039	16,887
美里分署		424	424	488	447	473	424	447	486	499	496	4,608
網田分署		399	364	377	369	401	382	340	381	432	449	3,894
南消防署		2,050	1,984	2,196	2,232	2,131	2,182	1,888	1,975	2,291	2,267	21,196
三角分署		515	503	539	481	512	519	476	486	534	558	5,123
豊野分署		508	528	569	509	525	529	458	494	562	596	5,278
小川分署		613	684	747	672	695	742	656	669	752	809	7,039
城南分署		245	宇城広域連合離脱									245
合 計		6,455	6,050	6,634	6,397	6,429	6,535	5,706	5,989	6,861	7,214	64,270

平成26年城南分署 1月～3月の件数

◇ 時間別救急出場件数

(令和5年中)

事故種別 時間	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他				合計
											転院 搬送	医師 搬送	資器材 搬送	その他	
0～2	3			7			26	2	2	216	16				272
2～4				6	2		28	1	2	170	9				218
4～6				12	1		24		2	173	4				216
6～8	4		1	29	2		66		2	362	15				481
8～10	2		1	53	15	1	155		3	570	83				883
10～12	7		3	50	12	13	151		4	542	212			1	995
12～14	2		1	49	7	6	112	1	2	459	263				902
14～16	13		3	48	11	7	95	1	4	423	170				775
16～18	8			60	6	2	116	2	4	492	159			1	850
18～20	4			43	1	4	99	1	5	503	74			1	735
20～22				13	1	5	71	2	3	360	33				488
22～24				7	1		51	3	4	315	18				399
計	43	0	9	377	59	38	994	13	37	4,585	1,056	0	0	3	7,214



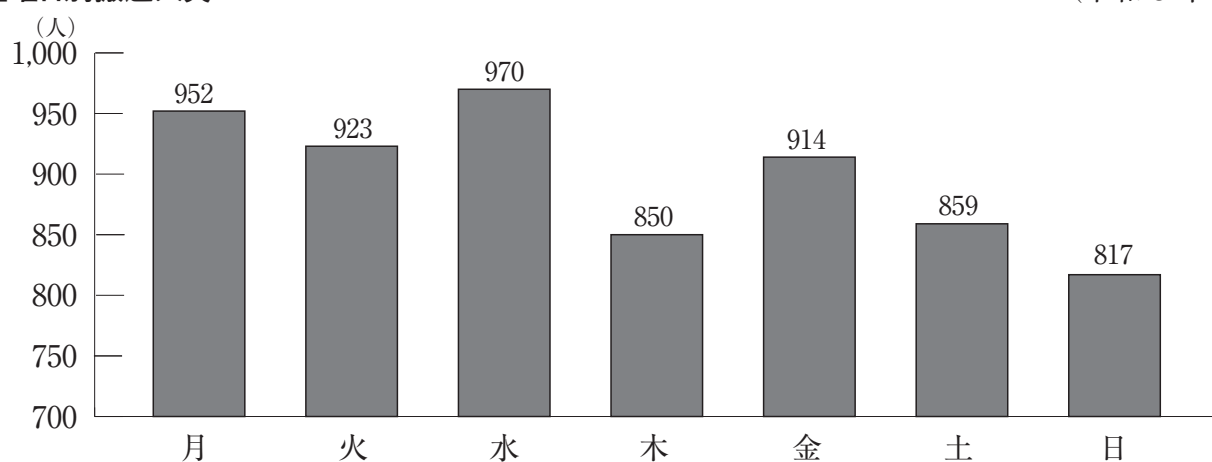
◇ 月・曜日別種別毎搬送人員

(令和5年中)

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計
曜日別	月				40	7	2	134		3	572	194	952
	火				58	7	3	124	1	2	554	174	923
	水				48	14	4	123	1	4	579	197	970
	木	2		1	44	9	2	111		2	536	143	850
	金	1			48	8	3	127	1	5	559	162	914
	土				48	6	7	116	1	2	556	123	859
	日	1			39	3	9	144	2	8	551	60	817
計		4	0	1	325	54	30	879	6	26	3,907	1,053	6,285
月別	1月	2			23	6	1	81	1	2	359	79	554
	2月				11	2		76	1	3	280	80	453
	3月	1			26	7	2	87		1	294	90	508
	4月				24	7	1	68		2	293	90	485
	5月				40	3	3	64		2	306	84	502
	6月				24	3	4	58	1	2	326	96	514
	7月				43	3	4	68	1	1	403	82	605
	8月	1			24	4	3	70		1	402	96	601
	9月			1	20	6	5	70		2	318	83	505
	10月				33	4	1	82		1	313	85	519
	11月				27	3	4	71	1	9	293	93	501
	12月				30	6	2	84	1		320	95	538

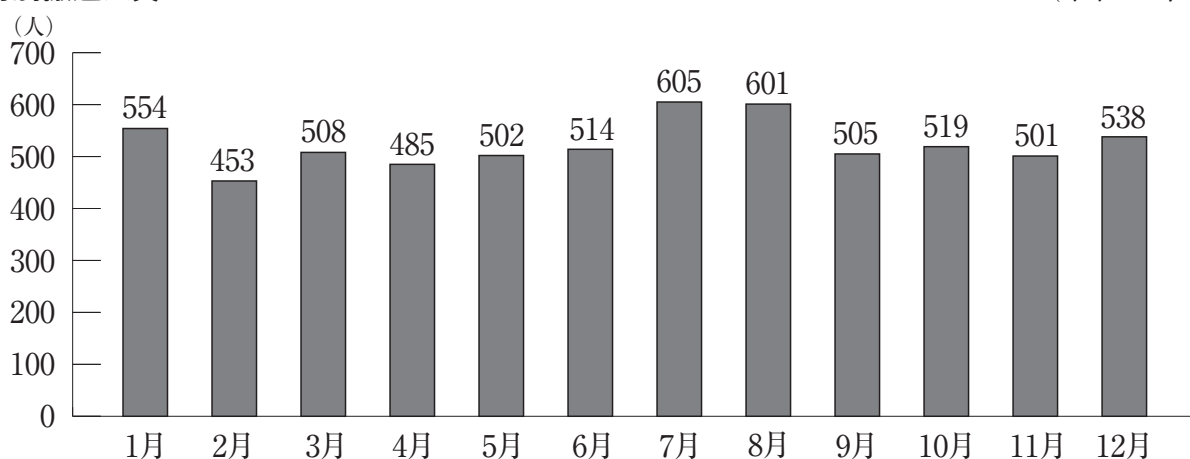
■曜日別搬送人員

(令和5年中)



■月別搬送人員

(令和5年中)





事故種別医療機関別搬送人員

(令和5年中)

事故種別 医療機関別			急 病		交通事 故		一 般負傷		そ の 他		計	
告示の別等	開設者別			うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外
救急医療機関	国立		510	150	17	13	45	21	176	142	748	326
	公立		36	33	3	2	6	6	19	19	64	60
	公的		1,848	1,608	111	88	280	248	755	751	2,994	2,695
	私的	病院	849	175	132	37	421	91	140	25	1,542	328
		診療所										
	計		3,243	1,966	263	140	752	366	1,090	937	5,348	3,409
その他の医療機関	国立											
	公立		4	1					3		7	1
	公的		53	53	5	5	9	9	12	12	79	79
	私的	病院	398	294	34	13	80	41	62	53	574	401
		診療所	208	6	22	1	38	1	7	1	275	9
	計		663	354	61	19	127	51	84	66	935	490
計	国立		510	150	17	13	45	21	176	142	748	326
	公立		40	34	3	2	6	6	22	19	71	61
	公的		1,901	1,661	116	93	289	257	767	763	3,073	2,774
	私的	病院	1,247	469	166	50	501	132	202	78	2,116	729
		診療所	208	6	22	1	38	1	7	1	275	9
	計		3,906	2,320	324	159	879	417	1,174	1,003	6,283	3,899
その他の場所	接骨院等											
	そ の 他		1	1	1	1					2	2
	計		1	1	1	1	0	0	0	0	2	2
合 計			3,907	2,321	325	160	879	417	1,174	1,003	6,285	3,901



事故種別年齢区分別傷病程度搬送人員

(令和5年中)

事故種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
	傷病程度												
新生児	死 亡												0
	重 症												0
	中等症											2	2
	軽 症												0
	その他												0
	計	0	0	0	0			0	0		0	2	2
乳幼児	死 亡												0
	重 症										2	1	3
	中等症				1			15			56	16	88
	軽 症				5			22		2	105	3	137
	その他												0
	計	0	0	0	6		0	37	0	2	163	20	228
少年	死 亡												0
	重 症				2			1			2		5
	中等症				12		7	7			28	5	59
	軽 症				24		15	12		1	68	5	125
	その他												0
	計	0	0	0	38	0	22	20	0	1	98	10	189
成人	死 亡												0
	重 症				9	4		13		4	69	25	124
	中等症				72	23	5	62	3	8	417	161	751
	軽 症	1			82	15	2	53	2	8	352	12	527
	その他												0
	計	1	0	0	163	42	7	128	5	20	838	198	1,402
高齢者	死 亡												0
	重 症	1			10	2		77		1	468	105	664
	中等症				56	5	1	444		2	1,686	679	2,873
	軽 症	2		1	52	5		173	1		654	39	927
	その他												0
	計	3	0	1	118	12	1	694	1	3	2808	823	4,464
合計	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重 症	1	0	0	21	6	0	91	0	5	541	131	796
	中等症	0	0	0	141	28	13	528	3	10	2,187	863	3,773
	軽 症	3	0	1	163	20	17	260	3	11	1,179	59	1,716
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	4	0	1	325	54	30	879	6	26	3,907	1,053	6,285

◇ 現場到着所要時間別出場件数

(令和5年中)

時間 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着最短 所要時間 (分)	現場到着最長 所要時間 (分)	現場到着平均 所要時間 (分)
急 病	51	96	2,434	1,872	132	4,585	0	47	9.8
交通事故	1	9	164	169	34	377	2	31	11.2
一般負傷	14	12	578	360	30	994	1	58	9.7
上記以外	2	50	901	257	48	1,258	1	49	8.7
計	68	167	4,077	2,658	244	7,214			

◇ 収容所要時間別搬送人員

(令和5年中)

時間 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		計		収容最短 所要時間 (分)	収容最長 所要時間 (分)	収容平均 所要時間 (分)
		うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内			
急 病			5	231	14	2,703	1,502	945	790	23	15	3,907	2,321	17	280	51.0
交通事故				15	2	197	72	113	86			325	160	25	116	54.3
一般負傷			5	72	3	568	227	229	182	5	4	879	417	13	139	50.2
上記以外			10	79	9	862	777	218	212	5	5	1,174	1,003	12	139	46.3
計	0	0	20	397	28	4,330	2,578	1,505	1,270	33	24	6,285	3,901			



救急隊員の行った応急処置件数（１）

（令和５年中）

事故 種別	応急処置 傷病程度	応急処置 対象人員	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫		心肺蘇生		酸素 吸入	気道確保			
							うち自動		うち自動		※１	※２	※３	※４
急病	死 亡													
	重 症	540	3		21	10	6	126	82	266	143	3	1	30
	中等症	2,185	11	3	2			1	1	353	13			
	軽 症	1,179	11	2						43				
	その他													
交通事故	計	3,904	25	5	23	10	6	127	83	662	156	3	1	30
	死 亡													
	重 症	21	4	12						9				
	中等症	141	16	25						8				
	軽 症	163	8	15						1				
一般負傷	その他													
	計	325	28	52	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0
	死 亡													
	重 症	90	8	6	2	2		9	6	14	10			3
	中等症	528	61	34						23	1	1		
その他	軽 症	260	60	5						2				
	その他													
	計	878	129	45	2	2	0	9	6	39	11	0	1	0
	死 亡													
	重 症	143	2	2	1			3	3	46	4			2
合計	中等症	917	15	9				2	1	180	2			
	軽 症	114	11	2						8				
	その他													
	計	1,174	28	13	1	0	0	5	4	234	6	0	0	2
	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	重 症	794	17	20	24	12	6	138	91	335	157	3	1	32
	中等症	3,771	103	71	2	0	0	3	2	564	16	0	1	0
	軽 症	1,716	90	24	0	0	0	0	0	54	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6,281	210	115	26	12	6	141	93	953	173	3	2	32

・気道確保欄の※１は、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数

※２は、喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数

※３は、救急救命士がラリゲアルマスク等を使用して気道確保を行った件数

※４は、救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数

◇ 救急隊員の行った応急処置件数（２）

(令和５年中)

事故 種別	応急処置 傷病程度	保温	被覆	在宅療法継続			除細動	静脈確保	薬剤投与 アドレナリン	他の応急 処置	血圧測定	聴診	血中酸素 飽和測定	心電図	血糖測定	エピペン	ブドウ糖
				※Ａ	※Ｂ	※Ｃ											
急病	死 亡																
	重 症	12		4		4	9	50	32	491	425	353	428	481	47		2
	中等症	23	10	4		4	2	19		2,142	2,164	1,506	2,174	1,623	69		5
	軽 症	9	2	1		1		2		1,163	1,135	701	1,171	715	17		1
	その他																
	計	44	12	9	0	1	11	71	32	3,796	3,724	2,560	3,773	2,819	133	0	8
交通事故	死 亡																
	重 症	1	3							19	21	17	21	17			
	中等症		15					1		138	140	111	138	57			
	軽 症		16							160	162	98	163	51			
	その他																
	計	1	34	0	0	0	0	1	0	317	323	226	322	125	0	0	0
一般負傷	死 亡																
	重 症	1	8				2	1	1	87	81	44	81	49	1		
	中等症	7	52					1		511	519	324	528	243			
	軽 症	5	59							254	247	117	255	77	2		
	その他																
	計	13	119	0	0	0	2	2	1	852	847	485	864	369	3	0	0
その他	死 亡																
	重 症	2						2	2	136	141	68	140	90			
	中等症	9	14				1	1		876	906	490	908	477	1		
	軽 症	2	6							110	111	60	113	36			
	その他																
	計	13	20	0	0	0	1	3	2	1,122	1,158	618	1,161	603	1	0	0
合 計	死 亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重 症	16	11	4	0	4	11	53	35	733	668	482	670	637	48	0	2
	中等症	39	91	4	0	4	3	22	0	3,667	3,729	2,431	3,748	2,400	70	0	5
	軽 症	16	83	1	0	1	0	2	0	1,687	1,655	976	1,702	879	19	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	71	185	9	0	1	14	77	35	6,087	6,052	3,889	6,120	3,916	137	0	8

備考 ※Ａ：在宅中心静脈栄養管理、科学療法等による点滴処置有 ※Ｂ：気管切開孔、気管瘻、人工肛門等の外瘻処置有

※Ｃ：Ａ・Ｂ以外の処置あり

※気管挿管：平成16年7月1日より運用が開始された「認定救急救命士」による気管チューブを使用した気道確保

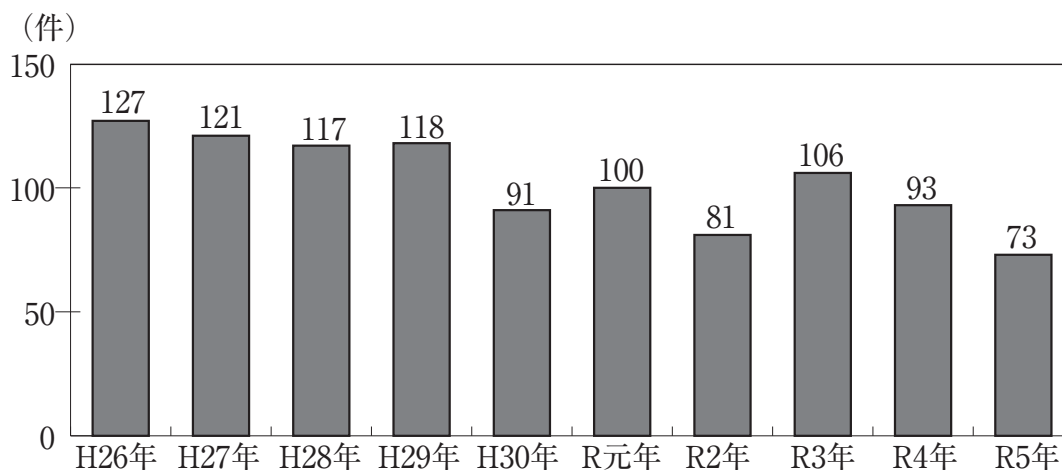
※薬剤投与：平成18年4月1日より運用が開始された「認定救急救命士」によるアドレナリンを使用した薬剤投与

◇ 救助概況

令和5年中における救助出場件数は、73件で前年より20件減少しました。事故種別毎にみると「火災」が29件（39.7%）、次いで「交通事故」28件（38.3%）、「その他の事故」13件（17.8%）の順となっています。

また、この活動で20名の方を救出しました。

◇ 10か年の救助出場件数



年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	計
件数	127	121	117	118	91	100	81	106	93	73	1,027

◇ 事故種別救助出場及び活動状況

(令和5年中)

区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外									
出場件数	11	18	28	3						13	73
出場人員	27	48	332	85						118	610
活動件数	11	18	8	3						7	47
活動人員	22	32	89	80						62	285
救助人員			10	3						7	20

◇ 発生場所別救助出場及び救助人員

(令和5年中)

発生場所		火災 (※)		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
屋内	住居	6									1	7
	その他の屋内	2										2
屋外	道路	高速道路	1	2								3
		その他の道路	1	23								24
	水面	内水面			3							3
		外水面									1	1
	山岳										2	2
	その他の屋外	2	16	2							8	28
地下												0
その他		1		1							1	3
計		11	18	28	3	0	0	0	0	0	13	73
救助人員				10	3						7	20

※本表において、「火災」とは救助隊が出場した火災のうち、消防機関が何らかの救助活動を行った火災をいう。

予

防

- ◇ 予防業務の概要
- ◇ 火災予防条例等に基づく諸届出受理件数
- ◇ 防火対象物現況
- ◇ 用途別建築同意件数
- ◇ 市町別建築同意件数
- ◇ 月別建築同意件数
- ◇ 危険物製造所等の取扱数量別施設数
- ◇ 危険物規制事務取扱状況
- ◇ 市町別危険物施設数



防火対象物区分一覧

1 項	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場
	ロ	公会堂、集会場
2 項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ
	ロ	遊技場、ダンスホール
	ハ	風俗営業等
	ニ	カラオケボックス等
3 項	イ	待合、料理店
	ロ	飲食店
4 項		百貨店、マーケット、店舗等
5 項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅
6 項	イ	病院、診療所又は助産所
	ロ	有料老人ホーム等 (避難困難者が主として入所している施設)
	ハ	老人デイサービスセンター、保育所等
	ニ	幼稚園、特別支援学校等
7 項		学校、各種学校等
8 項		図書館、博物館又は美術館等
9 項	イ	蒸気・熱気・公衆浴場等
	ロ	上記以外の公衆浴場
10項		車両等の停車場、発着場
11項		神社、寺院、教会等
12項	イ	工場又は作業場
	ロ	映画又はテレビスタジオ
13項	イ	自動車車庫又は駐車場
	ロ	飛行機の格納庫
14項		倉庫
15項		前各項に該当しない事業場
16項	イ	特定複合用途防火対象物
	ロ	非特定複合用途防火対象物
16項の 2		地下街
16項の 3		地階と地下道を合わせもったもの
17項		重要文化財、史跡
18項		50m 以上のアーケード
19項		市町村長の指定する山林
20項		総務省令で定める舟車

◇ 予防業務の概要

一般住宅や、事業所等から火災を予防することを目的に、事業所に対しては消防用設備等及び火気設備の点検指導、防火管理の講習及び防火管理者の指導育成、消防設備等の設置指導、危険物施設等の許認可や各種検査、防火対象物への立入検査、防火対象物・危険物施設の違反処理、権限移譲による液化石油ガス、煙火消費に関する事業を行っています。

また、春・秋の火災予防運動をはじめ、文化財防火デー、危険物安全週間の広報等を実施、「消防ふれあいフェア」などを開催し、地域住民の方に防火意識の高揚、防火思想の普及啓発及び住宅用火災警報器設置に向けた普及啓発活動を行っています。

◇ 火災予防条例等に基づく諸届出受理件数

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

届 出 種 類	届出件数
防火・防災管理者選任（解任）届出	159
消防計画作成（変更）届出	187
消防訓練実施結果報告	623
防火対象物点検・防災管理点検結果報告	55
防火対象物点検・防災管理点検報告特例認定申請	3
防火対象物使用開始届出	102
炉・厨房設備・温風暖房器・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備・放電加工機設置届出	13
燃料電池発電設備・発電設備・変電設備・蓄電設備・急速充電設備等設置届出	46
ネオン管灯設備設置届出	0
水素ガスを充てんする気球の設置届出	0
火災とまぎらわしい煙又は火災を発生する恐れのある行為の届出	357
煙火・打上げ・仕掛け花火届出	22
催物開催届出	21
露店等の開設届出	80
少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱い、廃止届出	36
禁止行為の解除承認申請	5
工事整備対象設備等着工届出	72
消防用設備等（特殊消防設備等）設置届出	125
消防用設備等（特殊消防設備等）点検結果報告	998
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届出	22
危険物製造所等品名数量又は指定数量の倍数変更届出	7
危険物保安監督者選任・解任届出	15
予防規程制定変更認可申請	10
道路工事届出	343
水道断水・減水届出	0
合 計	3,301

◇ 防火対象物現況

(令和6年3月31日現在)

区分 項別		設備 を必要 とする 対象 物数	防火 管理 者を 必要 とする 事業 所数	防火 管理 者選 (解) 任届 出数	令和5.4.1～令和6.3.31				中高層建物数			特例 認定 事業所	定期点 検報告 事業所
					選任 解任	消防 計画	消防 訓練	査察 件数	3F	4F	5F 以上		
1項	イ	1	1	1			3						1
	ロ	14	13	12	5	7	13	3		2		2	9
2項	イ	1	1										
	ロ	15	9	9	4	4	9					2	4
	ハ												
	ニ	3	3	2	1	1	2						
3項	イ	11	9	8					2				
	ロ	151	66	53	14	13	13	12	4	1			
4項		186	127	99	34	36	82	14	4			1	27
5項	イ	69	15	14	3	3	14	2	5		4		
	ロ	742	24	17	11	11	1	9	107	30	22		
6項	イ	102	34	33	4	8	44	3	20	6	5		7
	ロ	137	109	107	14	23	151	11	8	3	1		1
	ハ	219	82	81	9	16	148	9	4				
	ニ	21	6	6	1	2	6	1	1				
7項		147	39	37	10	14	27	7	25	2			
8項		10	6	6	4	4	4	3					
9項	イ												
	ロ	18	5	4			2	1					
10項		2											
11項		44	18	15		1	3	3					
12項	イ	584	46	42	6	8	27	40	21	2	5		1
	ロ	1											
13項	イ	56						5					
	ロ												
14項		461	3	2		1		38	4				
15項		648	161	123	30	28	37	51	41	8	3		
16項	イ	147	95	62	5	6	27	8	32	3	1	2	5
	ロ	73	15	9	1	1	1	4	9	6	2		
16項の2													
16項の3													
17項		2											
18項													
19項													
20項													
合 計		3,865	887	742	156	187	614	224	287	63	43	7	55

◇ 用途別建築同意件数

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

工事種別 用途別		新 築	増 築	改 築	修 繕	模様替	用途 変更	その他	計
住 宅 等		14	2						16
観覧場・集会場									0
遊 技 場									0
料理店・飲食店		1							1
店 舗		4							4
ホテル・旅館									0
共同住宅・寮寄宿舎		8	1						9
病院・診療所	イ	3					1		4
特別養護老人 ホーム等	ロ	1							1
老人デイサー ビス等	ハ		4						4
幼稚園・ 特別支援学校	ニ								0
学 校		6	5	1				1	13
図書館・博物館									0
公衆浴場									0
停車場									0
神社・寺院・教会			1						1
工場・作業場		2	3						5
映画スタジオ又は テレビスタジオ									0
車庫・駐車場			3						3
倉 庫		6	2		1				9
その他の事業所		14	10					1	25
複合用途対象物		1	2						3
文 化 財 等									0
合 計		60	33	1	1	0	1	2	98

◇ 市町別建築同意件数

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

月別 市町別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宇土市	2	1	5	2	1	4	4	3	1	6	1	3	33
宇城市	3	7	3	9	5	2	7	6	7	5	8	2	64
美里町												1	1
合 計	5	8	8	11	6	6	11	9	8	11	9	6	98

◇ 月別建築同意件数

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

工事種別 月別	新 築	増 築	改 築	修 繕	模様替	用途 変更	その他	計
4月	3	1					1	5
5月	7		1					8
6月	7	1						8
7月	3	8						11
8月	5	1						6
9月	3	3						6
10月	9	2						11
11月	5	4						9
12月	6	2						8
1月	6	3		1			1	11
2月	4	5						9
3月	2	3				1		6
合 計	60	33	1	1	0	1	2	98

◇ 危険物製造所等の取扱数量別施設数

(令和6年3月31日現在)

製造所等		数量別	5倍以下	5倍を超え 10倍以下	10倍を超え 50倍以下	50倍を超え 100倍以下	100倍を 超えるもの	計
製 造 所					2	2	1	5
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		14	9	3	2	6	34
	屋外タンク貯蔵所		15	13	16	5	20	69
	屋内タンク貯蔵所		2	4				6
	地下タンク貯蔵所		32	17	11	4	2	66
	簡易タンク貯蔵所		2					2
	移動タンク貯蔵所		24	3	5	14		46
	屋 外 貯 蔵 所			1	1			2
	小 計		89	47	36	25	28	225
取 扱 所	給 油 取 扱 所		5	12	34	20	30	101
	第1種販売取扱所		1					1
	第2種販売取扱所							0
	一 般 取 扱 所		27	11	19	3	7	67
	小 計		33	23	53	23	37	169
合 計			122	70	91	50	66	399

次世代へ つなごう無事故 青い地球

令和6年度「危険物安全週間推進標語」

◇ 危険物規制事務取扱状況

(令和5年4月1日から令和6年3月31日)

製造所等		項目	設置 許可	変更 許可	完成前 検査	完成 検査	仮貯蔵 仮取扱	仮使用 承認	計	廃止
製 造 所				2		2		2	6	
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		2			2			4	2
	屋外タンク貯蔵所			1		1		1	3	
	屋内タンク貯蔵所								0	
	地下タンク貯蔵所			1		3			4	
	簡易タンク貯蔵所								0	
	移動タンク貯蔵所		1	5		5			11	6
	屋 外 貯 蔵 所								0	1
	小 計		3	7	0	11	0	1	22	9
取 扱 所	給 油 取 扱 所			7		7		6	20	1
	第1種販売取扱所								0	
	第2種販売取扱所								0	
	一 般 取 扱 所			7		8		6	21	3
	小 計		0	14	0	15	0	12	41	4
水圧・水張検査のみ					66				66	
仮貯蔵仮取扱							7		7	
合 計			3	23	66	28	7	15	142	13

◇ 市町別危険物施設数

(令和6年3月31日現在)

市町別 製造所等	宇土市	宇城市	美里町	計
製 造 所	5			5
屋 内 貯 蔵 所	23	11		34
屋外タンク貯蔵所	43	24	2	69
屋内タンク貯蔵所	2	4		6
地下タンク貯蔵所	16	46	4	66
簡易タンク貯蔵所	2			2
移動タンク貯蔵所	9	34	3	46
屋 外 貯 蔵 所	1	1		2
給 油 取 扱 所	33	57	11	101
販 売 取 扱 所	1			1
移 送 取 扱 所				0
一 般 取 扱 所	33	30	4	67
市町別施設数	168	207	24	399
市町別事業所数	71	128	17	216

幼少年婦人防火クラブ

◇ 幼年消防クラブ 23クラブ

◇ 少年消防クラブ 3クラブ

◇ 婦人防火クラブ 10クラブ



◇ 幼年消防クラブ

(令和6年4月1日現在)

番号	ク ラ ブ 名	住 所	クラブ 員数	結成年月
1	はちす保育園	美里町土喰352	22	昭和57年10月1日
2	砥用音楽幼稚園	美里町土喰358-5	20	昭和57年10月1日
3	網津保育園	宇土市網津町2082-3	35	昭和61年12月1日
4	みすみ保育園	宇城市三角町波多144	40	昭和62年1月5日
5	宇土ありあけ保育園	宇土市花園町553	26	昭和62年2月2日
6	白梅幼稚園	宇城市不知火町長崎2209-1	18	昭和62年11月5日
7	まこと幼稚園	宇城市松橋町豊福1017-3	38	昭和63年4月1日
8	わかき保育園	宇城市三角町波多967	20	昭和63年4月5日
9	宇土東保育園	宇土市松原町222-3	57	平成5年12月1日
10	白百合保育園	宇城市小川町江頭355	24	平成6年4月1日
11	堅志田保育園	美里町堅志田209	9	平成6年11月1日
12	豊野保育園	宇城市豊野町糸石2997	14	平成9年7月10日
13	宇土幼稚園	宇土市門内町86	15	平成10年4月1日
14	花園幼稚園	宇土市古保里町990-1	15	平成10年4月1日
15	轟保育園	宇土市神馬町800	46	平成10年4月1日
16	緑川こども園	宇土市野鶴町353	26	平成10年4月1日
17	網田保育園	宇土市下網田町1252-1	52	平成10年4月1日
18	走潟保育園	宇土市走潟町802	47	平成10年4月1日
19	ひかり保育園	宇土市本町5丁目29	41	平成10年4月1日
20	すみれ保育園	宇土市本町2丁目32	54	平成10年4月1日
21	はなぞの保育園	宇土市松山町2604	61	平成10年4月1日
22	たんぽぽ保育園	宇土市松山町1939-2	28	平成10年4月1日
23	宇土エンゼル保育園	宇土市高柳町100-5	23	平成10年4月1日
合 計			731	

◇ 少年消防クラブ

(令和6年4月1日現在)

番号	市町別	クラブ名称	クラブ員数	結成年月日
1	宇城市（松橋町）	当尾小学校少年消防クラブ	未確定	昭和33年4月1日
2	宇城市（松橋町）	松橋小学校少年消防クラブ	49	昭和37年4月1日
3	宇城市（松橋町）	豊川小学校少年消防クラブ	3	昭和45年4月1日
合 計			52	

◇ 婦人防火クラブ

(令和6年4月1日現在)

番号	市町別	クラブ名称	クラブ員数	結成年月日
1	宇城市	小川町婦人防火クラブ	103	平成9年8月6日
2	宇城市	豊野町女性防火クラブ	101	平成9年8月8日
3	宇土市	宇土校区婦人防火クラブ	320	平成9年9月1日
4	宇土市	花園校区婦人防火クラブ	450	平成9年9月1日
5	宇土市	轟校区婦人防火クラブ	100	平成9年9月1日
6	宇土市	網津校区婦人防火クラブ	225	平成9年9月1日
7	宇土市	網田校区婦人防火クラブ	71	平成9年9月1日
8	宇土市	走潟校区婦人防火クラブ	120	平成9年9月1日
9	宇城市	三角町婦人防火クラブ	88	平成9年9月1日
10	宇城市	松橋・不知火町婦人防火クラブ	12	平成9年9月1日
合 計			1,590	

消 防 団

◇ 団員数とポンプ台数



大切な人、大切な自分の街を守りたい！

消防団員募集



宇城広域消防連絡協議会



愛する郷土を守る！ 消防団

消防団は、地域に密着した消防機関として「自分の街は自分たちで守る」という郷土愛護の精神と使命感のもと、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害といった大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導など、地域住民の身体・生命・財産を災害から守るために活動しています。また、災害のない場合でも訓練のほか、応急手当の普及指導、住宅への防火指導、特別警戒、広報活動などを行い、災害を未然に防いだり被害を軽減するため日々活動しています。

現在、当本部の管轄は2市1町で構成されており、それぞれの市町には消防団があり、合わせて33分団、2,118人（女性53人含）の団員が地域防災の責任を担い、日夜、郷土愛護の精神で献身的に私達の町を守っています。

◇ 団員数とポンプ台数

（令和6年4月1日現在）

市町別	団長名	分団数	定員	実員（下段平均年齢）		ポンプ車および 積載車台数	小型ポンプ 台数
				男子	女子		
宇土市	伊豫孝信	7	555人	535人	16人	35台	35台
				35.4歳	28.9歳		
宇城市	吉田公美	21	1,550人	1,280人	24人	117台	117台
				40.8歳	48.8歳		
美里町	吉住淳一	5	400人	250人	13人	37台	36台
				35.0歳	32.2歳		
合計		33	2,505人	2,065人	53人	189台	188台
				38.7歳	38.7歳		

住民に対する各種活動

- ◇ 救命講習等の実施状況
- ◇ 住宅用火災警報器 宇城設置率の推移
- ◇ 住宅用火災警報器 全国設置率の推移
- ◇ うき防火標語

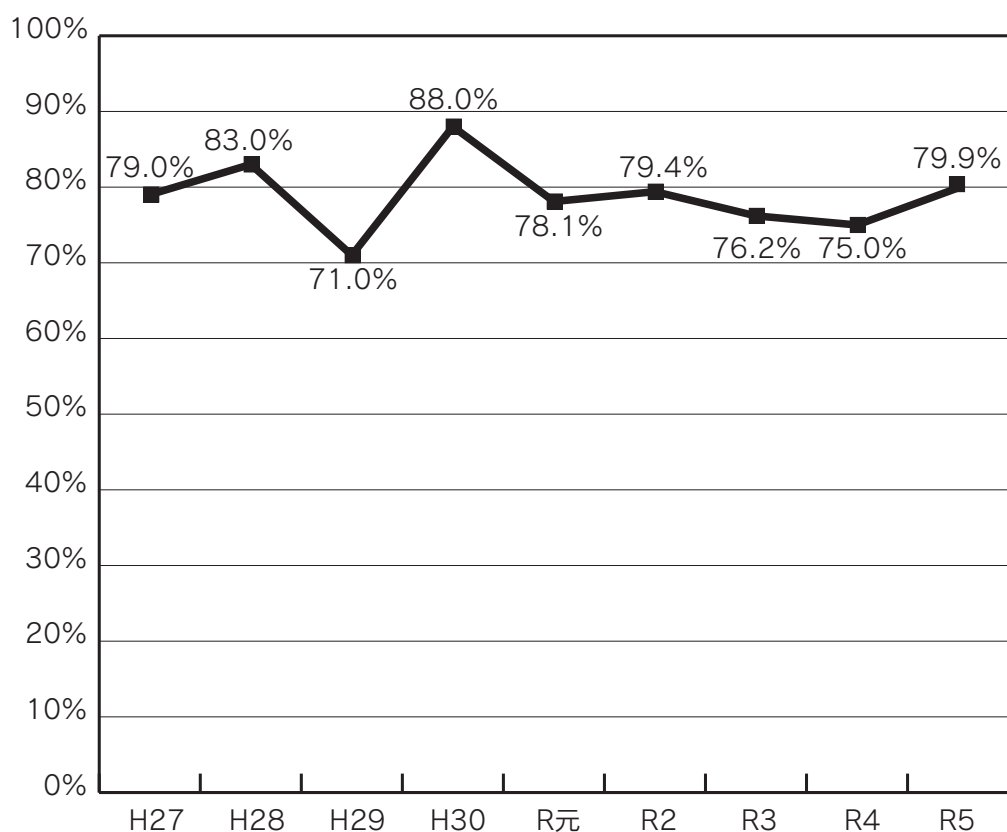


◇ 救命講習等の実施状況

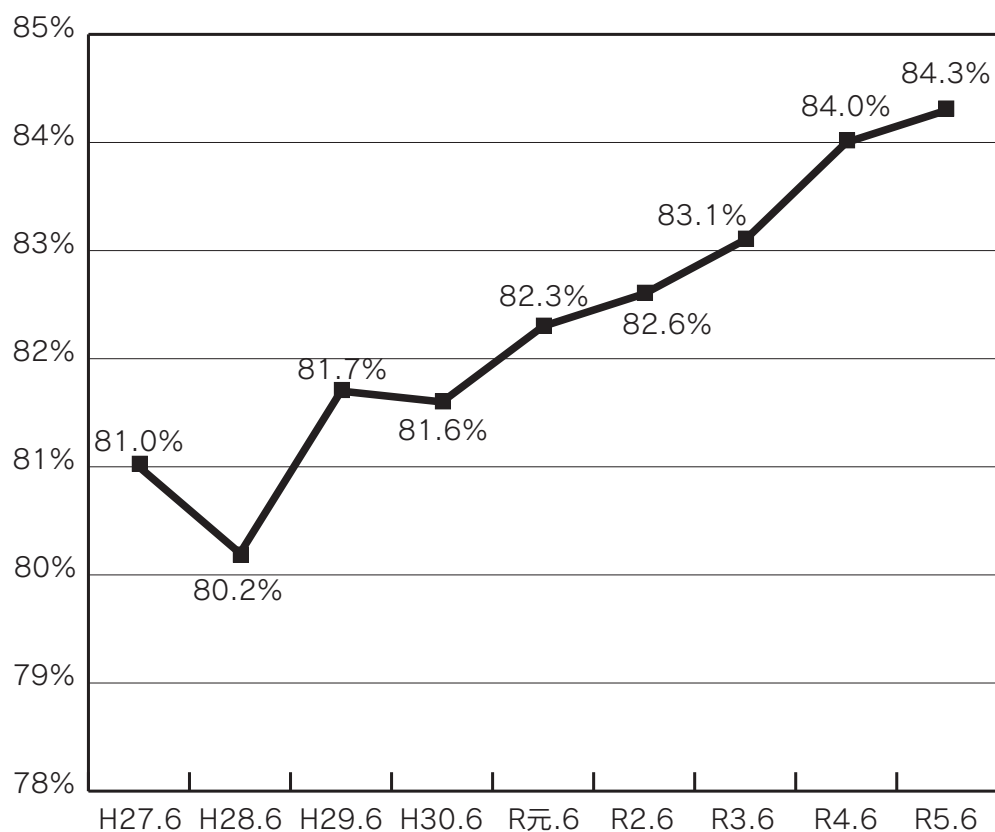
種別 年別	普通救命講習		救急法講習	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
平成26年	28	733	125	4,088
平成27年	22	550	98	3,416
平成28年	28	802	70	2,400
平成29年	18	269	96	3,379
平成30年	20	423	112	3,508
令和元年	19	343	117	3,758
令和2年	3	32	28	673
令和3年	4	19	27	572
令和4年	12	265	61	1,654
令和5年	8	189	123	3,006
10か年合計	162	3,625	857	26,454

種別 年別	応急手当普及員講習	
	実施回数	受講者数
平成26年	1	10
平成27年		
平成28年		
平成29年	1	5
平成30年	1	4
令和元年	2	10
令和2年		
令和3年	1	3
令和4年	1	3
令和5年		
10か年合計	7	35

◇ 住宅用火災警報器 宇城設置率の推移



◇ 住宅用火災警報器 全国設置率の推移





うき防火標語



最優秀作品

第1回（平成9年度）	「火の用心 あなたの家族の 合言葉」
第2回（平成10年度）	「消したはず 消したつもりが 落とし穴」
第3回（平成11年度）	「火の用心 気配り 目配り 今一度」
第4回（平成12年度）	「あらしもた 火事で泣くより 笑顔で点検」
第5回（平成13年度）	「めざそうよ 火災のない町 ナンバーワン」
第6回（平成14年度）	「火災から 守ろう家族を みんなの町を」
第7回（平成15年度）	「我が町を みんなで守る 防火の目」
第8回（平成16年度）	「消しましょう あなたの心の 油断の火」
第9回（平成17年度）	「教えましょう 幼いうちから 火の怖さ」
第10回（平成18年度）	「燃やすまい この家 あの夢 その絆」
第11回（平成19年度）	「まちぐるみ 声かけあって なくす火事」
第12回（平成20年度）	「我が家では 親、子、孫まで 火の用心」
第13回（平成21年度）	「気のゆるみ 火災はあなたの すきまから」
第14回（平成22年度）	「防火の心 皆にひろげて 火災ゼロ」
第15回（平成23年度）	「再確認 火災はあなたの 気のゆるみ」
第16回（平成24年度）	「とりつけよう 命の保険 火さいほうちき」
第17回（平成25年度）	「役立つ火 あなたの油断で 夢絶つ火」
第18回（平成26年度）	「燃やさない 家は家族の 宝箱」
第19回（平成27年度）	「サイレンの 響き忘れぬ 火の用心」
第20回（平成28年度）	「消火より 防火が大事 火の用心」
第21回（平成29年度）	「火の始末 『誰か』 じゃなくて 『あなた』 です」
第22回（平成30年度）	「火の確認 お出かけ前の 決まり事」
第23回（令和元年度）	「ちょっとだけ 心のゆだんが 火事のもと」
第24回（令和2年度）	「わすれてない？ 火のかくにんは 最初にね」
第25回（令和3年度）	「外出時 マスクに火の元 再確認」
第26回（令和4年度）	「火の用心 家ぞくを守る 第一歩」
第27回（令和5年度）	「いってきます でかけるまえに ひのかくにん」

所 在 一 覧

名 称	〒	住 所		T E L	F A X
宇城広域連合 消防本部	869-0417	宇土市境目町427番地	代 表	0964-22-0554	0964-22-5775
			総務課	0964-22-6220	
			警防課	0964-22-6221	
			予防課	0964-22-6222 0964-22-1919	
			通信指令課	0964-22-0554	0964-23-1199
宇城広域連合 北消防署	869-0417	宇土市境目町427番地		0964-22-6247	0964-22-0270
美里分署	861-4726	下益城郡美里町大窪837番地 5		0964-47-1255	0964-47-1378
網田分署	869-3172	宇土市上網田町3651番地 1		0964-27-0190	0964-27-0219
宇城広域連合 南消防署	869-0542	宇城市松橋町豊崎1547番地 1		0964-32-2825	0964-32-4265
三角分署	869-3204	宇城市三角町中村101番地 4		0964-52-2222	0964-52-2284
豊野分署	861-4305	宇城市豊野町山崎385番地 1		0964-45-3778	0964-45-3781
小川分署	869-0605	宇城市小川町南部田130番地 1		0964-43-6119	0964-43-6120

災害情報テレホンサービス			0964-23-3211	10回線
E-mail	info@ukisyobo.or.jp			
ホームページ	https://www.ukisyobo.or.jp/			

令和 5 年度版 消防年報

令和 6 年 8 月発行

編集・発行 宇城広域連合消防本部

総務課 企画広報係